ユーザーズガイド

大型スキャナ



モデル：**SD One X 24/36/44**

目次

このガイドについて 3
スキャナの概要 4
スキャナ正面図 4
スキャナ背面図 5
スキャナの接続 6
インストール 7
システム要件 7
インストール手順 7
スキャナを理解する 9
スキャナカバーを開く 9
スキャンガラスを確認して清掃する 10
カバーを閉じる 11
スキャナに電源を接続する 11
初めてスキャナの電源を入れる 12
スキャナ USB ケーブルを接続する 13
コンピュータを接続する 14
スキャナの電源オン/オフ 21
主電源スイッチ 21
スリープモードとウェイクアップモード 21
スリープモードオプション - 自動移行と待機時間 22
スキャナへの原稿の装填 23
自動給紙 23
スキャン用のソフトウェアアプリケーション 24
スキャン 24
WIDEsystem によるスキャナのモニター 25
メンテナンス 26
スキャナのメンテナンスについて 26
スキャンエリアの清掃 26
概要 - 主要なメンテナンス箇所 - 清掃 27
スキャナの補正 34
ガラスプレートの交換 37
ガラスプレートの交換 - 主要部品の概要 38
新しいファームウェアのダウンロード 46
トラブルシューティング 47
システム上でのエラー報告の方法 47
一般的なエラーの修正 47
技術サポート 47
スキャナのインストールに関連する問題 48
スキャナの動作に関連する問題 49
スキャン結果に関連する問題 52
付録 53
安全に関する重要な注意事項 53
規則 54
VCCI 規則 54
有毒/有害物質または成分 54

このガイドについて

このガイドでは、大型スキャナの操作および保守の方法について説明します。

このガイドは、読者がコンピュータやオペレーティングシステムの基本的な知識を備えていることを前提とし、それらに付属するマニュアルの内容は説明していません。

以下の資料を必ずお読みください。

1. 「*インストール*」のセクション - スキャナドライバのインストール方法を説明しています。

2. *WIDEsystem TOOLS* USBのwsフォルダにあるreadme.htmファイル：インストールやOSの互換性に関する最新情報が記載されています。

3. **WIDEsystem TOOLS のヘルプ - ドライバをインストールした後で、WIDEsystem を開き、F1キーを押してください。スキャナでのWIDEsystemアプリケーションソフトウェアの使用に関する情報が得られます。**

このユーザーズガイドは、次のモデルを対象としています。

TN53D	SD One X 24	24 インチカラースキャナ
TP53D	SD One X 36	36 インチカラースキャナ
TR53D	SD One X 44	44 インチカラースキャナ

ENERGY STAR 全シリーズのスキャナモデルがエナジースター®に準拠しています。

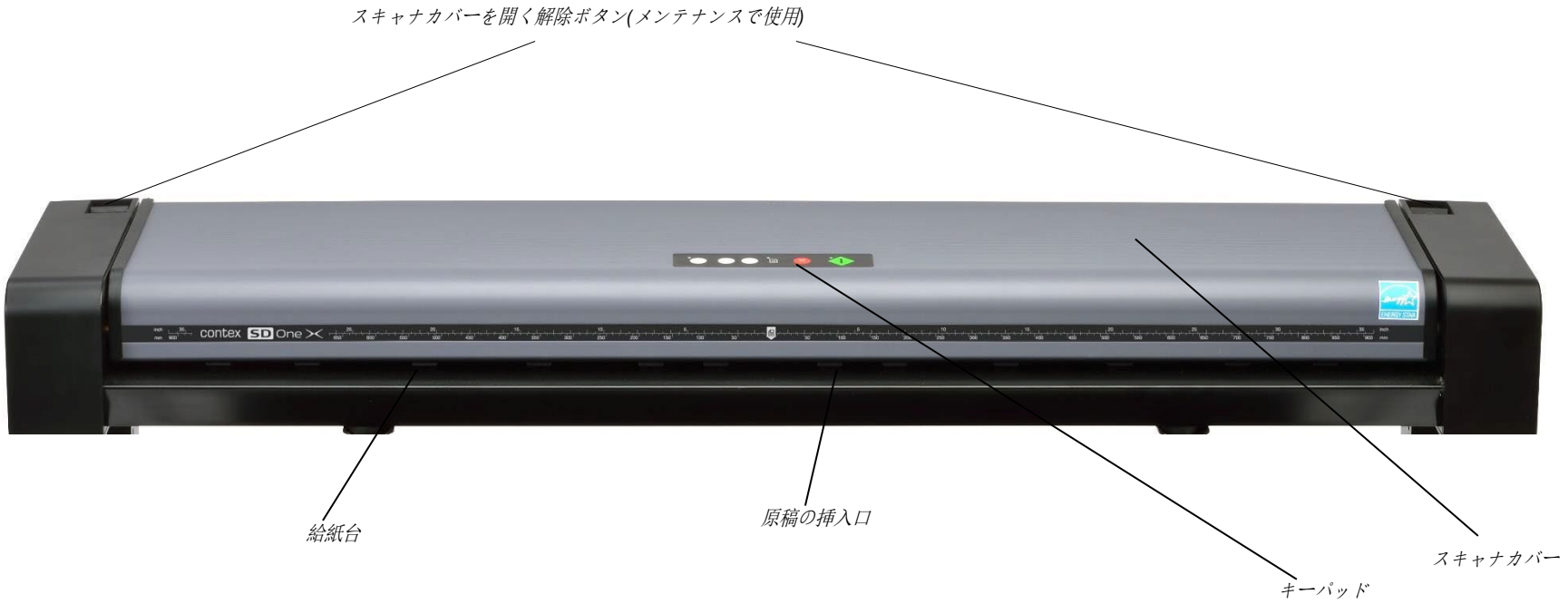
重要：必ずスキャナに付属のWIDEsystem TOOLS USB またはその更新版を使用してください。古いバージョンの WIDEsystem ソフトウェアは、スキャナモデルを検出しない場合があります。

注記：Windows の互換性 - このスキャナおよびドライバは、Microsoft Windows OS の最新バージョンをサポートするようにテストおよび開発されています。特定の Windows バージョンに対するドライバおよびインターフェースのサポートは、マイクロソフトサポートライフサイクルポリシーに従います。そのため、このポリシーに応じて互換性仕様が変更されることがあります。最新の OS 互換性仕様およびドライバについては、メーカーの Web サイトをご覧ください。

スキャナの概要

下図：スキャナを使用する前に確認しておく部品、ボタン、各部の位置

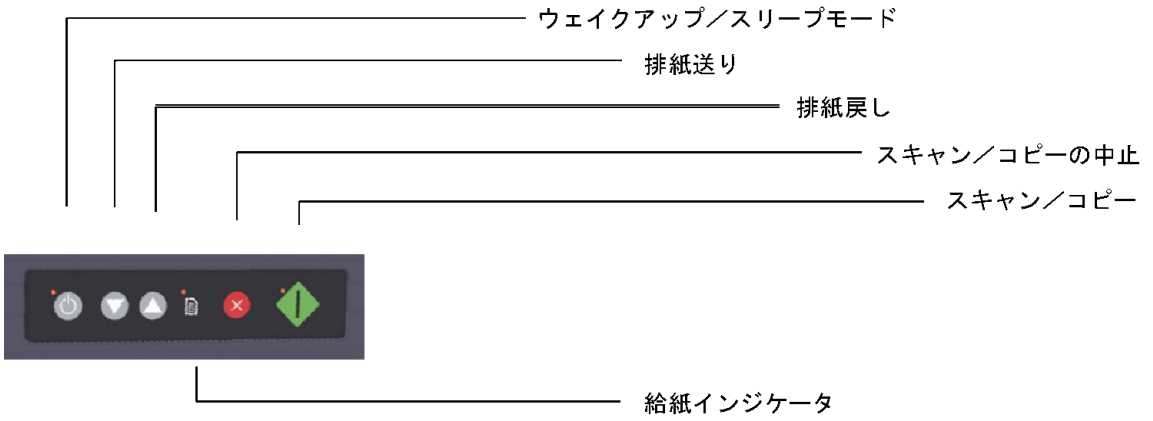
スキャナ正面図



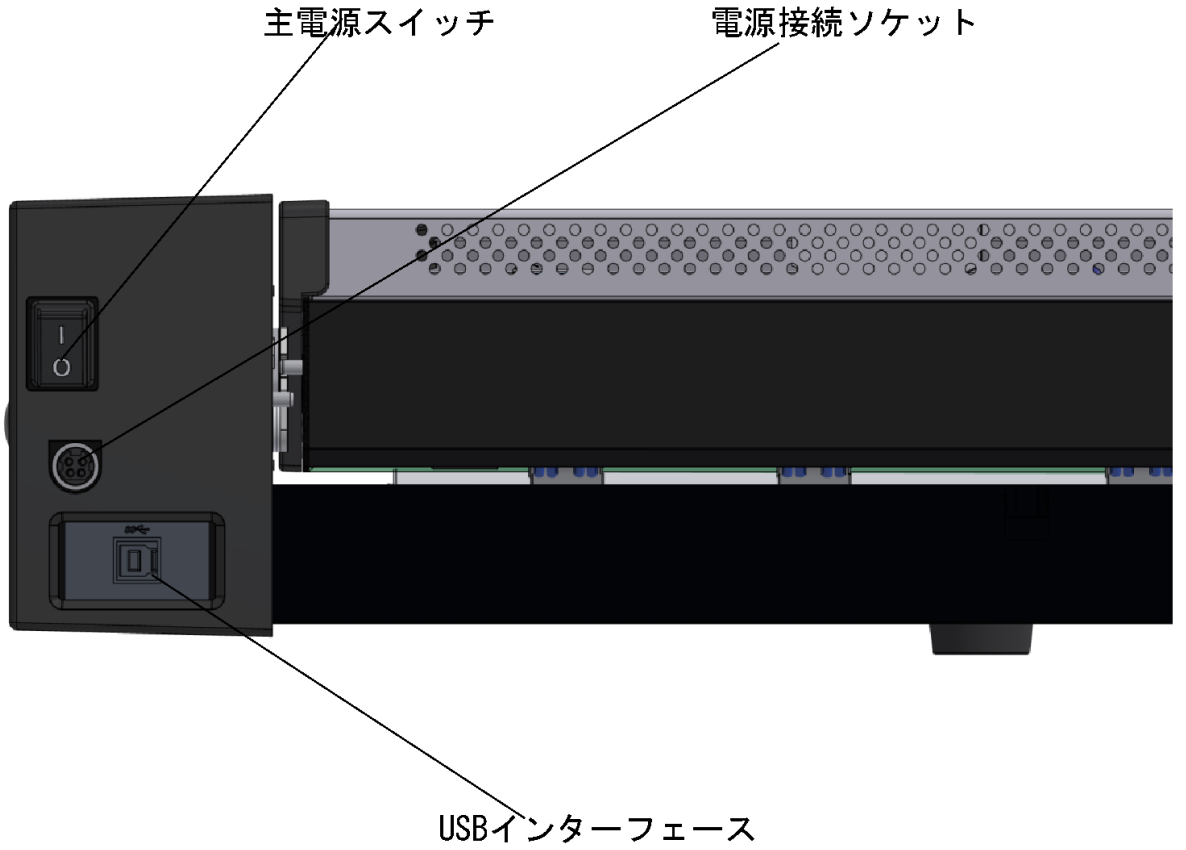
スキャナ背面図



キーパッドの操作



スキャナの接続



注記：USB 3.0端子は、図の向きから90度回転しています。

インストール

以下の手順に従うことにより、スキャナおよびスキャナドライバをすばやく簡単にインストールできます。

システム要件

- PCの推奨動作環境：2.4 GHz、8コア（16ロジカル・プロセッサー）の64bit CPU、32 GB RAMおよびSSD SATAドライブ、USB 3.0インターフェースまたはギガビットイーサネット。
- 互換性のある Windows オペレーティングシステム - *WIDEsystem TOOLS* USB のws/readme.htm ファイルを参照してください。
- PC上で使用可能なUSBポート。
- スキャナに付属の *WIDEsystem TOOLS* USB。
- スキャンソフトウェアまたは互換性のあるサードパーティ製ソフトウェア(または両方)。*「スキャン用のソフトウェアアプリケーション」を参照してください。*
- アース付きコンセント。

インストール手順

スキャナの設置場所の準備

1 スキャナの設置場所を準備する

スキャナは、専用の自立型フロアスタンドまたは頑丈な台に設置してください。スキャナの後ろには、原稿を排出できる十分なスペースを確保してください。

⚠ ***重要***：この段階では、まだスキャナを電源にも PC にも接続しないでください。

⚠ このユーザーズガイドの終わりにある「安全上の注意事項」も参照してください。

スキャナソフトウェア(WIDEsystem、ドライバ、スキャン/コピーソフトウェア)のインストール

2 WIDEsystem とスキャン/コピーソフトウェアを PC にインストールする

重要：WIDEsystem には、スキャナに必要なドライバが含まれています。WIDEsystem のインストールは、**スキャナを接続したり**スキャナソフトウェアアプリケーションをインストールしたりする前に行う必要があります。

- WIDEsystem TOOLS USBをPCに挿入します。通常はセットアップ画面が自動的に表示されます。表示されない場合は、USB内のsetup.exeファイルを手動で実行してください。
- 画面に表示される指示に従ってソフトウェアとスキャナドライバをインストールします。指示に従って PC を再起動し、インストールを完了します。
- インストールが完了したら、USB を取り出します。
- WIDEsystem が正しくインストールされた場合は、システムトレイに WIDEsystem のアイコンが表示されます。

重要：インストールプロセス中にソフトウェアにネットワークへのアクセスを許可するかどうかを確認するメッセージが表示された場合は、必ず**[はい]**を選択してください。

注意：清掃が終わるまでは、スキャナに電源ケーブルやUSBケーブルを接続しないでください。けがや機器の損傷を防ぐためです。

- この後のスキャナの準備と設定で必要になるため、ソフトウェアのインストール後もPCの電源は入れたままにしてください。

スキャナを理解する

スキャナの清掃

3 給紙台を清掃する

スキャナの外側と内部を軽く拭き、輸送中に付着したほこりを取り除きます。まず給紙台から清掃してください。

給紙台は、挿入口の前にある平らな部分です。原稿と一緒にほこりがスキャンエリアへ入り込まないよう、使用前に給紙台をよく拭いてください。



スキャナカバーを開く

スキャナの清掃

4 解除ボタンを手前に引いて、カバーのロックを解除する

スキャナの梱包および輸送中に内部のスキャンエリアにたまったほこりを拭き取ります。最初に、スキャナの両側面のカバーの奥側にある解除ボタンを使用して、スキャナカバーを開きます。

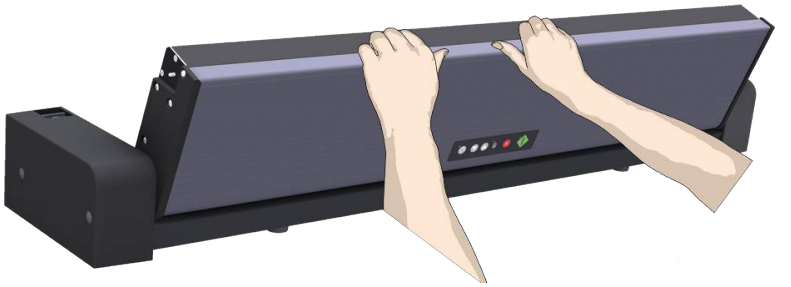
- スキャナの前に立ちます。
- 左右の解除ボタンを手前に引き、ロックを解除します。



スキャナの清掃

5 スキャナカバーを開く

カバーの端を持ち、上に引き上げます。止まる位置まで完全に開いてください。



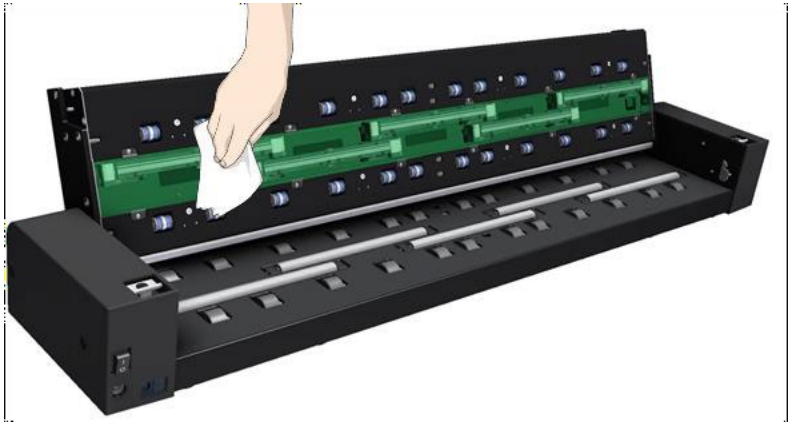
スキャンガラスを確認して清掃する

スキャナの清掃

6 内部のスキャンエリアを清掃する

糸くずの出ないきれいな乾いた布を使用して、内部のスキャンエリアのほこりを拭き取ります。

ガラスプレートに汚れが付着していて乾いた布では落ちない場合は、このガイドの後半の「*スキャンエリアの清掃*」に記載されたスキャンガラスと周辺部の清掃方法を参照してください。



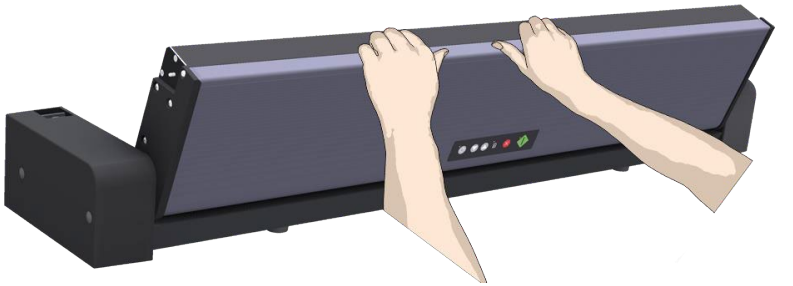
カバーを閉じる

スキャナの清掃

7 スキャナカバーを閉じる

内部のスキャンエリアの清掃が完了したら、カバーを閉じます。

1. スキャナカバーの上部に手を当て、両方の解除ボタンがカチッと音がして元の位置に戻るまで押し下げます。
2. 解除ボタンから少し指を離し、カバーを軽く引き上げて、完全に閉まっていることを確認します。

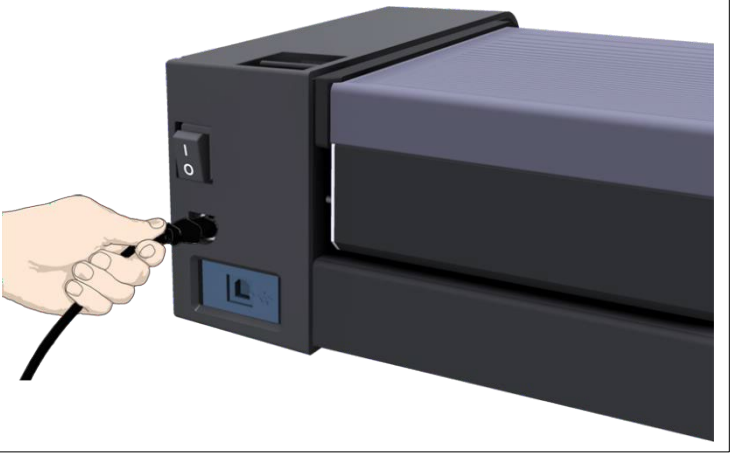


スキャナに電源を接続する

電源ケーブルの接続

8 電源コードをスキャナに接続する

コードの平らな面を上に向けて、スキャナの背面にあるソケットにプラグをゆっくり押し込みます。プラグをソケットに無理やり押し込まないように注意してください。



電源ケーブルの接続

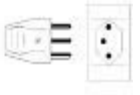
9 電源コードを電源コンセントに接続する



スキャナの電源コードの電源プラグを適切な電源コンセントに差し込みます。

⚠ **注意**：スキャナには 3 線(ピン)アース端子付きプラグが付いています。プラグがコンセントに入らない場合は、認定電気技術者に連絡してプラグまたはコンセントを交換し、電源を確実にアース接続してください。ユーザーの電気的安全性を確保するため、アース端子付きプラグの目的を無視した使い方をしないでください。



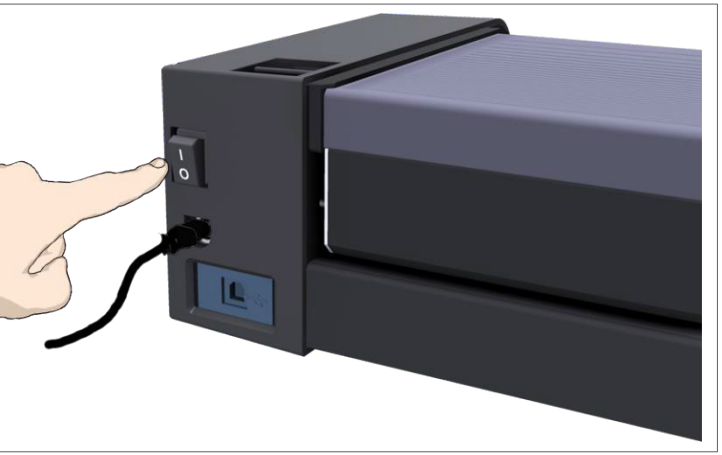


初めてスキャナの電源を入れる

スキャナの電源オン

10 スキャナの電源を入れる

スキャナの背面にある主電源スイッチをオンにします。



スキャナ USB ケーブルを接続する

USB ケーブルの接続

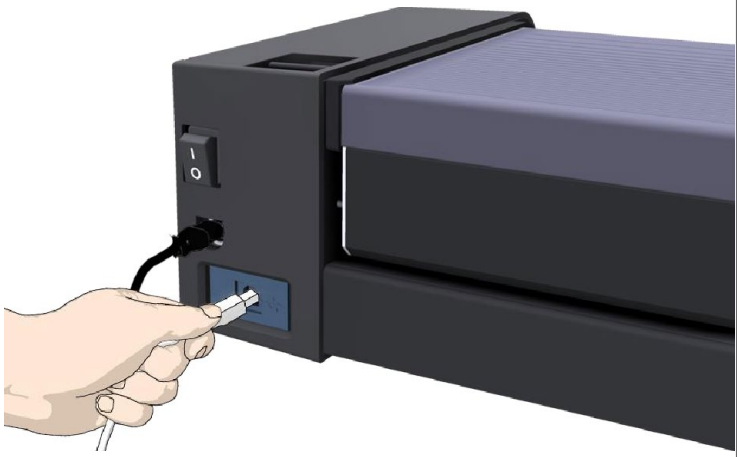
11 スキャナにUSB インターフェースケーブルを接続する

B コネクタ(正方形のコネクタ)をスキャナの USB 接続ソケットに接続します。

USB端子はスキャナの背面にあります。注記：USB 3.0端子は、図の向きから90度回転しています。

重要：USB ケーブルのもう一方のコネクタをコンピュータに接続しないでください。

規則について：このスキャナは、EMC 規格EN55022 および FCC 規則第 15 章に準拠することがテストにより確認されています。規格への準拠を維持するために、スキャナに付属のインターフェースケーブル以外は使用しないでください。

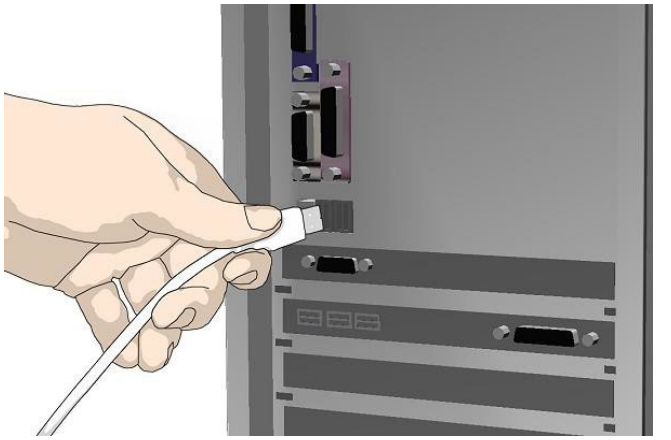


コンピュータを接続する

USB ケーブルのPC への接続

12 USB インターフェースケーブルを PC に接続する

1. PC 側で、WIDEsystem が実行されていることを確認します。システムトレイに WIDEsystem のアイコンが表示されます。
2. WIDEsystem が実行されていない場合は、*[プログラム]*メニューから WIDEsystem を選択し、手動で起動してください。
3. 前の手順のとおりに USB ケーブルがスキャナに接続されていることを確認してください。
4. A コネクタ(平たいコネクタ)をコンピュータの USB ポートに接続します。

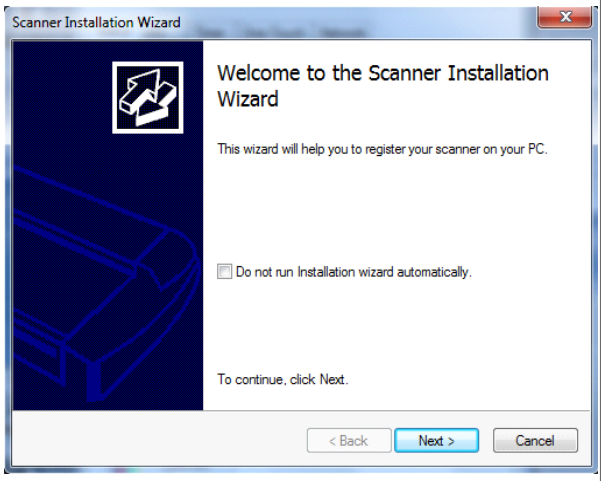


注記：PC の**背面**にある未使用の USB ポートを使用することをお勧めします。PC のモデルによっては、前面の USB ポートを使用するとパフォーマンスに影響することがあります。

スキャナのインストール

13 インストールウィザードが起動する

1. ドライバがスキャナを検出し、スキャナインストールウィザードを起動します。
2. 初回のインストールでは、20 秒後に WIDEsystem スキャナインストールウィザードが起動します。
3. インストールウィザードが起動しない場合は、次のいずれかまたは複数の操作を行ってください。
    a. スキャナおよび PC で USB ケーブルをいったん外し、再度接続します。
    b. USB ケーブルがスキャナと PC にしっかり接続されていることを確認します。
    c. PC の別のUSB ポートを使用します。
    d. USB ケーブルがスキャナの背面にある USB と表示されたポートに接続されていることを確認します。

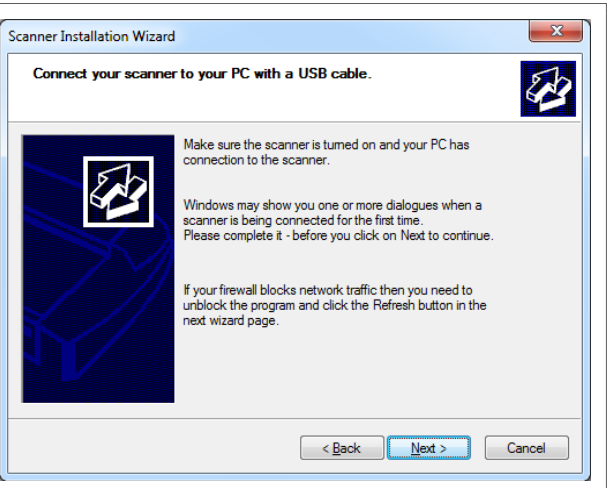


スキャナのインストール

14 Windows がスキャナをインストールする

1. [次へ]をクリックし、画面に表示される指示に従って PC にスキャナをインストールします。
2. スキャナインストールプロセスの大部分は自動的に実行されます。
3. 完了メッセージが表示されるまで待ってください。
4. 完了したら、*[次へ]*をクリックします。

重要：インストールプロセス中にソフトウェアにネットワークへのアクセスを許可するかどうかを確認するメッセージが表示された場合は、必ず**[はい]**を選択してください。

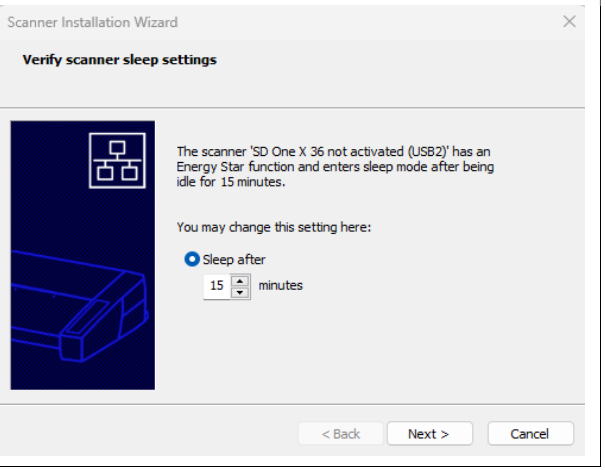


スキャナのインストール

15 エナジースターの待機時間を設定する

出荷時には、スキャナは事前に設定された*待機*時間(スキャナが動作していない時間)が経過すると自動的にスリープモードに切り替わるように設定されています。エナジースターに準拠したデフォルトの待機時間は 15 分です。

スリープモードに頻繁に移行しないよう、待機時間を長くすることもできます。必要に応じて設定を変更してください。



スキャナのライセンス認証

16 スキャナのライセンス認証を行う

このスキャナを使用するためには、まずライセンス認証を行う必要があります。*スキャナ認証ウィザード*の指示に従ってください。

注記：スキャナのサプライヤーが事前にライセンス認証を行っている場合もあります。スキャナのライセンス認証が完了している場合、ウィザードでは、この手順と次の手順 16a および 16b が省略されます。

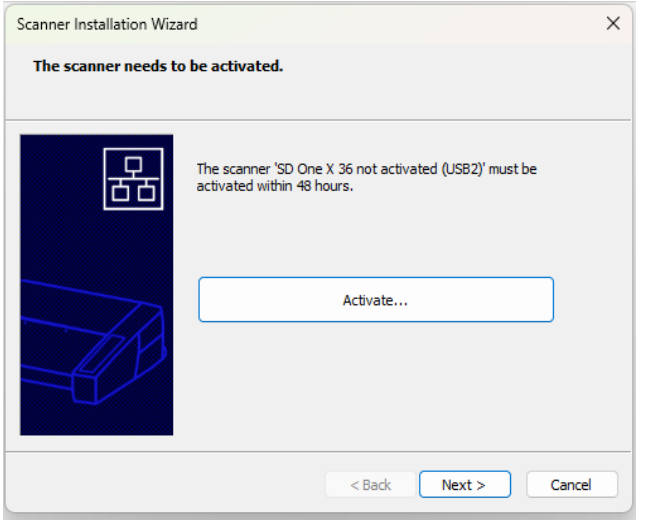
ライセンスキーと認証コードについて：

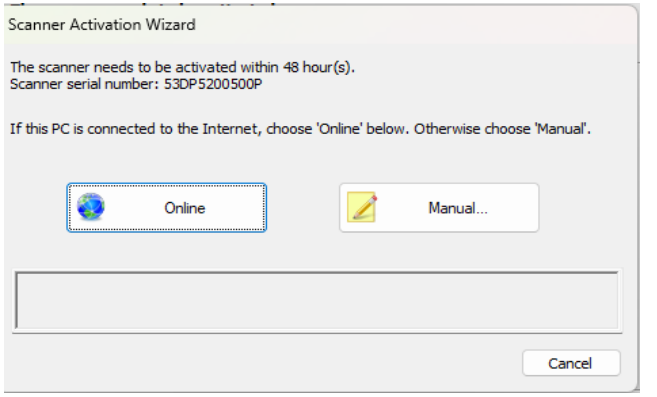
- スキャナに付属の**ライセンスキー**を入力してください。ライセンス未認証でも、50 時間はスキャナを使用できます。
- ライセンスキーをお持ちでない場合は、販売店に問い合わせてください。
- **オンライン**認証では、ライセンスキーのみが必要です。
- **手動**でライセンス認証を行う場合は、**認証コード**も必要になります。認証コードは，販売店またはメーカーのライセンス Web サイトから入手できます。認証コードをメーカーのライセンス Web サイトから入手する場合は、*手動認証*の手順(下記)に従ってください。

スキャナのライセンス認証を行うには

1. *[認証]*ボタンをクリックして認証ウィザードを起動します。
2. スキャナのライセンス認証には、*オンライン*と*手動*の 2 つの方法があります。
3. PC がインターネットに接続されている場合は***[オンライン]***を選択し、そうでない場合は***[手動]***を選択します。
4. *[オンライン]*を選択した場合は、手順 16a に進みます(16b は飛ばします)。*[手動]*を選択した場合は、手順 16b に進みます(16a は飛ばします)。

重要：インストールプロセス中にソフトウェアにネットワークへのアクセスを許可するかどうかを確認するメッセージが表示された場合は、必ず**[はい]**を選択してください。



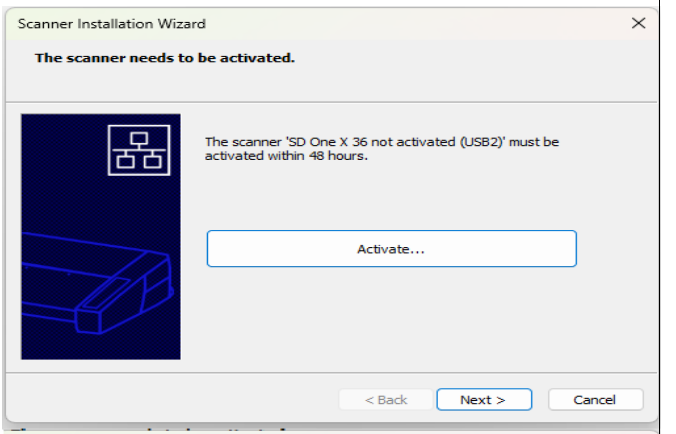


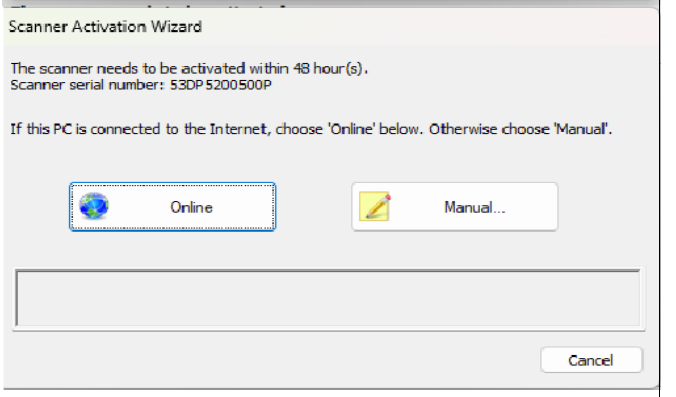
スキャナのライセンス認証 – オンライン

16a オンライン認証

オンライン認証は非常に簡単です。必要なのはライセンスキーだけです。
ライセンス認証の方法として*[オンライン]*を選択すると、右上に示すダイアログが表示されます。

1. [ライセンスキー]フィールドにライセンスキーを入力します。
2. ライセンスキーを入力すると、すぐにキーが認証され、有効なキーであれば、ダイアログの中央の右寄りに緑色のチェックマークが表示されます。
3. 続行するには、*[認証]*ボタンをクリックします。
4. ライセンス認証が成功したことを示す*[成功]*ダイアログが表示されます。



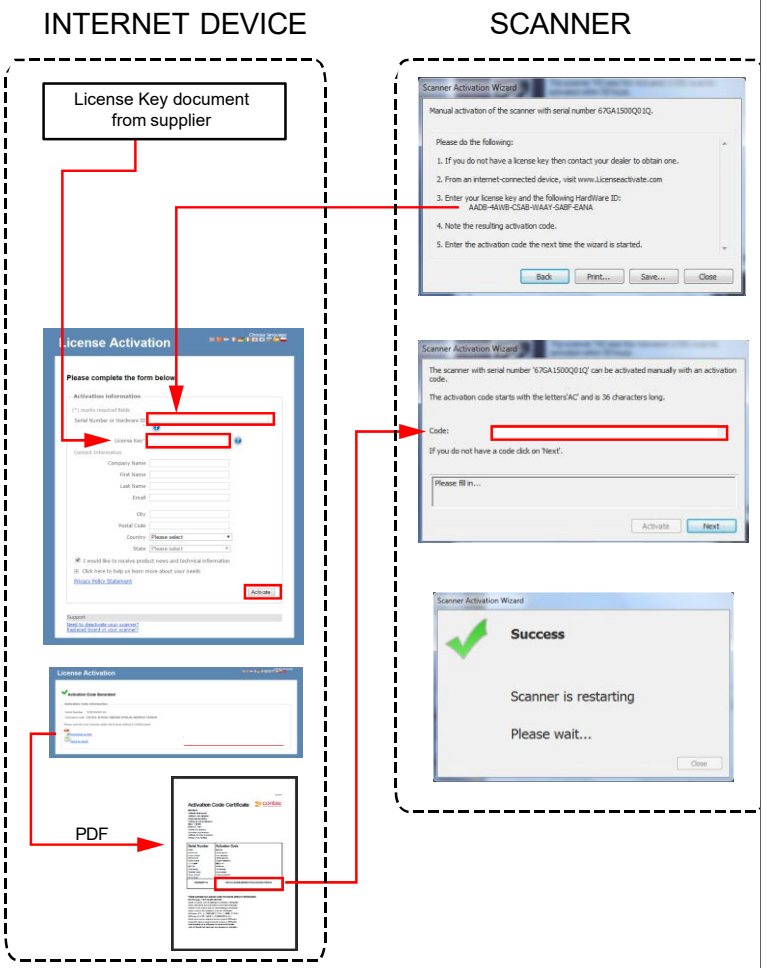


スキャナのライセンス認証 – 手動

16b

手動認証

- ライセンスキーを用意しておく必要があります。ライセンスキーをお持ちでない場合は、販売店に問い合わせてください。
- 手動認証には*認証コード*を使用します。コードの生成には、*ライセンスキー*とスキャナの*ID*（シリアル番号またはハードウェアID）が必要です。スキャナの*ID*はウィザードに表示されます（*1）。
- 認証コードの取得には、インターネットに接続できるPCなどの端末を使用します。*ライセンスキー*とスキャナの*ID*を入力すると、*認証コード*を取得できます。
- 以下の手順を実行します。
  1. ライセンス認証の方法として*[手動]*を選択した場合は、空のフィールドに認証コードを入力するように要求されます。*[次へ]*をクリックして認証コードを取得します。
  2. *手動*認証ウィザードの指示が表示されます。実際のスキャナの ID をメモしてください。これは、ウィザードが表示するハードウェア ID または S/N（シリアル番号）です(*1)。次の手順で認証コードを取得するために，この ID が必要になります。
  3. www.Licenseactivate.com にアクセスします。
  4. *[ライセンス認証]*というWeb インターフェースで、所定のフィールドにライセンスキーを入力します。
  5. スキャナの ID を入力します。これは、手順 2 で説明したようにウィザードが表示するハードウェア ID または S/N（シリアル番号）です。
  6. Licenseactivate.com Web サイトによって生成された*認証コード*をメモまたはコピーします(*2)。
  7. 手動認証ウィザードのダイアログ(*3)に認証コードを入力するか貼り付けて、*[次へ]をクリックします。*
  8. スキャナが認証されます。認証が完了すると、成功したことを知らせるメッセージが表示されます。

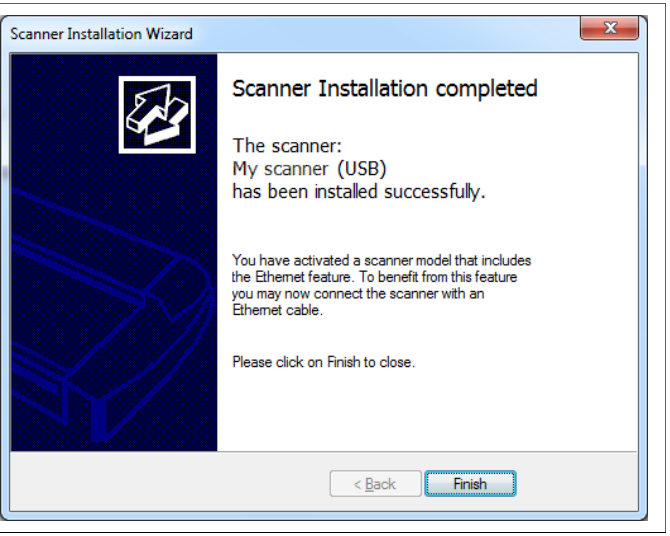


スキャナのインストール

17 インストール完了

このメッセージが表示された場合は、スキャナが正しくインストールされたことを意味します。

任意で行う最後の手順に進んでください。



スキャナのネットワーク共有設定

18 スキャナをネットワーク上の共有スキャナに設定する(任意)

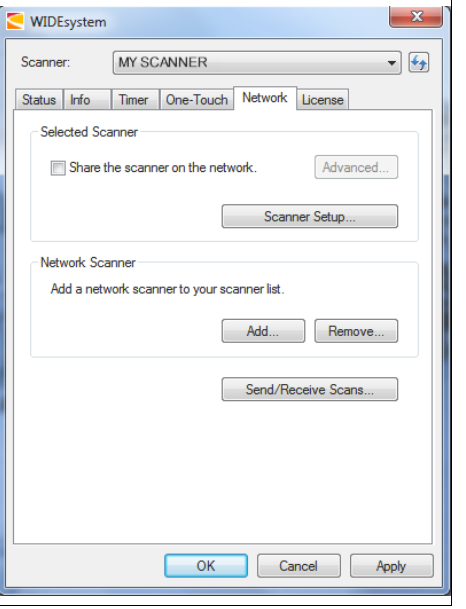
スキャナを LAN 上の他の PC で使用可能にすることができます。これを「共有」といいます。スキャナのライセンス認証を行った後で、WIDEsystem を使用して「共有スキャナ」として設定することができます。

1. WIDEsystem プログラムアイコンをダブルクリックして、*[ネットワーク]*タブを選択します。
2. 次のオプションを選択します:*ネットワーク上でスキャナを共有します。*
3. *[OK]*ボタンをクリックして設定を保存します。

ほとんどの LAN システムでは、以上で設定が完了します。ただし、システムによっては、個々の通信ポート番号などの*高度な設定*を適用する必要があります。 LAN 管理者に連絡し、*[高度な設定]*の設定方法を確認してください。

注記：WIDEsystemを開いてF1キーを押すと、*ネットワーク設定*の手順や各項目について詳しいヘルプを表示できます。

注記：スキャナを使用するLAN 上の PC には、WIDEsystem および互換性のあるスキャン/コピーソフトウェアがインストールされている必要があります。

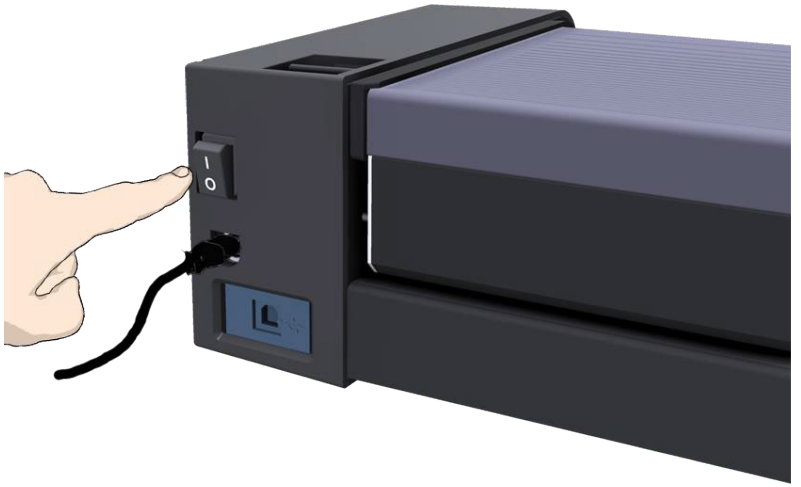


スキャナの電源オン/オフ

主電源スイッチ

主電源スイッチはスキャナの背面にあります。

- スイッチの上側(“I”と書かれている側)を押すと、主電源がオンになります。
- スイッチの下側(“0”と書かれている側)を押すと、主電源がオフになります。



スリープモードとウェイクアップモード

主電源スイッチをオンにしたままで、スキャナの電源は*スリープモード*と*ウェイクアップモード*を切り替えて使用します。***スリープ***モードは省電力状態で、スキャンできません。***ウェイクアップ***モードでは、スキャナを使用できます。

スキャナは、以下の場合に***ウェイクアップ***モードから***スリープ***モードに切り替わります。

- 自動：事前に設定された待機時間が経過したとき(次の「スリープモードオプション」を参照)。

スキャナは、以下の場合に***スリープ***モードから***ウェイクアップ***モードに切り替わります。

- スキャナに原稿を給紙したとき。

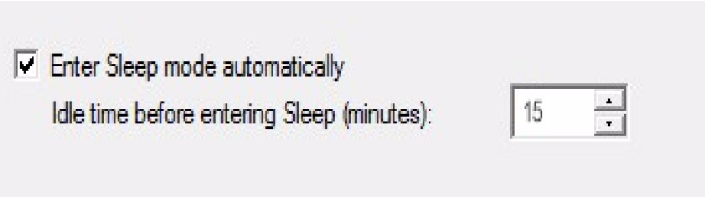
スリープモードオプション – 自動移行と待機時間

出荷時には、スキャナは事前に設定された*待機*時間(スキャナが動作していない時間)が経過すると自動的にスリープモードに切り替わるように設定されています。この待機時間を通常のワークフローに合わせて増減できます。

注記：待機時間を変更するオプションはインストールプロセス中に表示されるため、スキャナをインストールしたユーザが既に変更している可能性があります。

スリープモードオプションを変更/設定するには

- システムトレイの WIDEsystem アイコンをダブルクリックし、WIDEsystem プログラムを開きます。
- *[タイマー]タブ*を選択します。
- **[自動的にスリープモードになります]をオンまたはオフにします。**
- **オフにした場合は、手動でスリープモードに切り替えます。**
- **オンにした場合は、スリープモードに移行するまでの待機時間を設定します。**
- **[スリープモードに入るまでの待機時間（分）]に、スキャナを使用しない状態が何分続いたらスリープにするかを入力します。**
- *[適用]*をクリックして、設定をスキャナに保存します。



WIDEsystem プログラムのスリープモードオプション - [タイマー]タブ

手動切り替え - ウェイクアップモードとスリープモード

スキャナの主電源がオンであるときに、*[自動的にスリープモードになります]*オプションがオンに設定されている場合でも、スキャナを**手動**でウェイクアップモードに切り替えることができます。

ウェイクアップ – 原稿をスキャナに挿入します。

スキャナへの原稿の装填

スキャンする面を上にして原稿を
スキャナの中央に置きます。

- 原稿は、印刷面を上に向けて挿入します。
- 原稿の中央を給紙台の中央の矢印に合わせます。



原稿の印刷面を上に向けて挿入します。原稿を両手で持ち、原稿の中央をスキャナの中央のマークに合わせます。

自動給紙

自動給紙では、原稿を挿入口に差し込むと、スキャナが自動的に原稿を引き込みます。複数の原稿を続けてスキャンする場合に便利です。

- スキャンアプリケーションで[用紙処理]オプションの*[自動給紙]*が設定されていることを確認します。

2. 原稿の中央を給紙台の中央の矢印に合わせます。
3. 原稿を挿入口からローラーに当たる位置まで差し込みます。
4. スキャナが自動的に原稿を引き込み、スキャン開始位置まで移動します。
5. スキャンアプリケーションで、原稿を引き込むまでの待ち時間（ディレータイム）を設定できます。引き込みが早いと感じる場合は、原稿の向きを整えられるよう、待ち時間を調整してください。

スキャン

スキャン用のソフトウェアアプリケーション

このスキャナは、PC にインストールされたスキャンソフトウェア、コピーソフトウェア、またはイメージングソフトウェアを使用して操作します。

スキャナの機能を十分に活用するには、お使いの機種に対応したスキャンソフトウェアやコピーソフトウェアが必要です。対応するソフトウェアについては、メーカーのWebサイトをご覧ください。

WIDEsystem によるスキャナのモニター

最初の設定手順で、スキャナドライバが含まれる WIDEsystem をインストールしました。WIDEsystem には、スキャナをモニターし、動作状態について報告するアプリケーションが含まれています。*システムトレイのスキャナアイコンをダブルクリックして、WIDEsystem の制御インターフェースを開きます。*

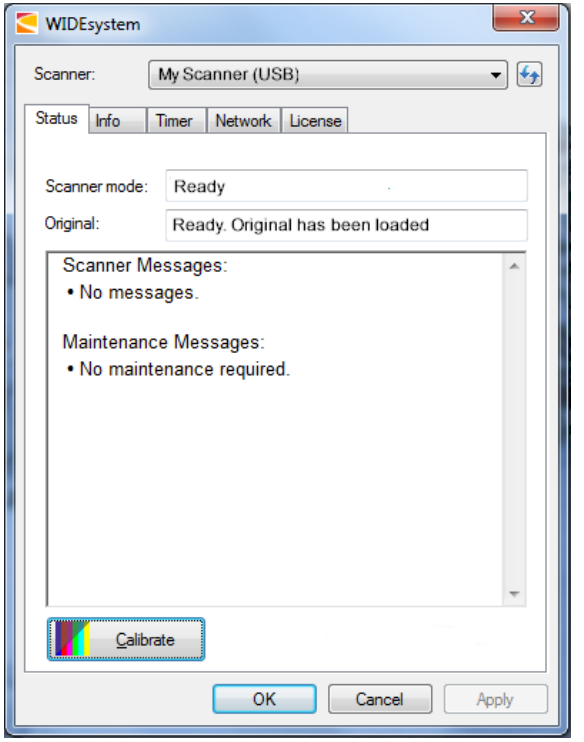
WIDEsystem では以下のことができます。

- **スキャナのステータスを表示する。**マウスポインタをシステムトレイのスキャナアイコン上に移動します。ステータスメッセージには、スキャナの検出状況、接続エラー、ランタイムエラー、スキャンレディ状態などがあります。



Windows のシステムトレイに表示されるスキャナの状態メッセージ

- **エラーメッセージおよびログを表示する。**ランタイムエラーは、発生すると直ちに画面に表示されます。*[ステータス]*タブと*[ログ]*タブを開いてエラーメッセージを確認することもできます。
- **スキャナデバイスの情報を表示する。**ファームウェアおよびハードウェアのバージョン情報を確認できます。*[情報]*タブを開きます。
- **新しいファームウェアをインストールする。**コンピュータ上のフォルダに新しいファームウェアをダウンロードし、スキャナにインストールします。
- **ネットワーク上の他の PC と共有できるようにスキャナを設定する。**この設定を行うには、*[スキャン to ネット]*タブを開きます。インストール – LAN 上でのスキャナの共有も参照してください。
- **スキャンソフトウェアをネットワーク上の共有スキャナにアクセスできるように設定する。**この設定を行うには、*[スキャン to ネット]*タブを開きます。
- **スキャナ補正ウィザードを起動する。**WIDEsystem を開き、*[補正]*を選択します。
- **WIDEsystem のオンラインヘルプを表示する。**WIDEsystem のトラブルシューティング手順やスキャナでの使用方法を確認できます。WIDEsystem を開き、F1 キーを押します。



WIDEsystem プログラムの制御インターフェース

スキャナのメンテナンスについて

スキャナの性能を維持するため、定期的にメンテナンスを行ってください。主な作業は、清掃と補正の2つです。

- **清掃**
  スキャナを汚れのない状態に保ちます。内部のスキャンエリアの入念な清掃方法について、次のセクションで説明します。スキャナを清掃する頻度は、スキャンの頻度とメディアのタイプによって異なります。主に新聞や古い青焼きの原稿をスキャンする場合は、カタログや最近の図面だけをスキャンする場合より頻繁に清掃する必要があります。良好なスキャン結果が得られなくなったときには、必ずスキャナの清掃を行ってください。スキャニング部に埃が付着しているだけで、スキャンしたイメージにスジが入ることもあります。
  詳細は「スキャンエリアの清掃」を参照してください。
- **補正**
  清掃しても画質が改善しない場合は、スキャナを補正してください。補正ではセンサー間の画像の位置ずれや、白・黒および色の再現性を調整します。事前にスキャンエリアを清掃し、キャリブレーションシートを挿入して、WIDEsystemの補正ウィザードを実行してください。
  詳細は「スキャナの補正」を参照してください。

スキャンエリアの清掃

清掃の頻度は、主としてスキャナの使用頻度と原稿の状態によって決まります。原則として、1 か月に最低 1 回は清掃を行い、高い精度が要求される重要なジョブの直前にも必ず行ってください。

以下のスキャナ部品および箇所は、必ず清掃してください。

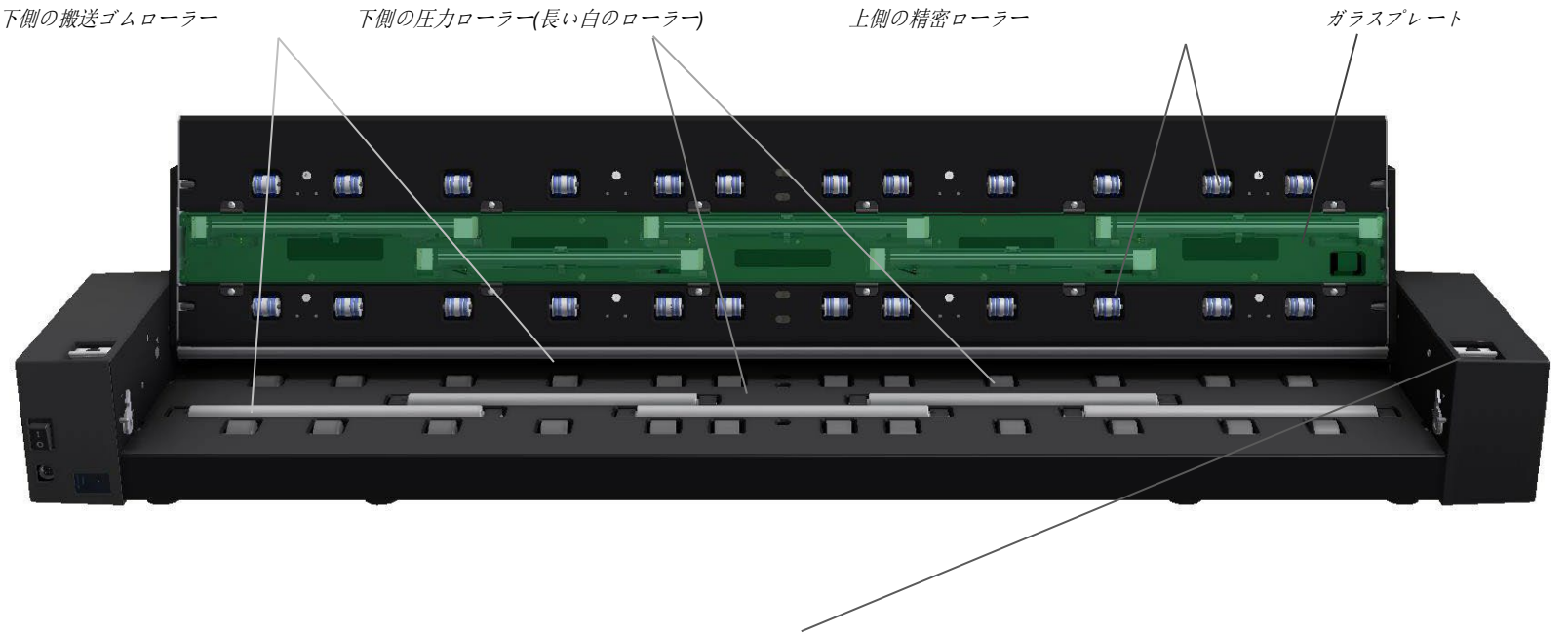
- スキャナの給紙台
- ガラスプレート
- 上側の精密ローラー
- 下側の圧力ローラー
- 下側の搬送ゴムローラー



注記：これらの部品の位置を確認するには、次のページの「*概要 - 主要なメンテナンス箇所 - 清掃*」を参照してください。

概要 - 主要なメンテナンス箇所 - 清掃

次の図は、カバーを開けたスキャナを上から見たところです。スキャナの清掃を行うときに把握しておく必要のある重要箇所(部品および場所)が示されています。これらの箇所が対象となる清掃作業の手順について以降のセクションで説明します。

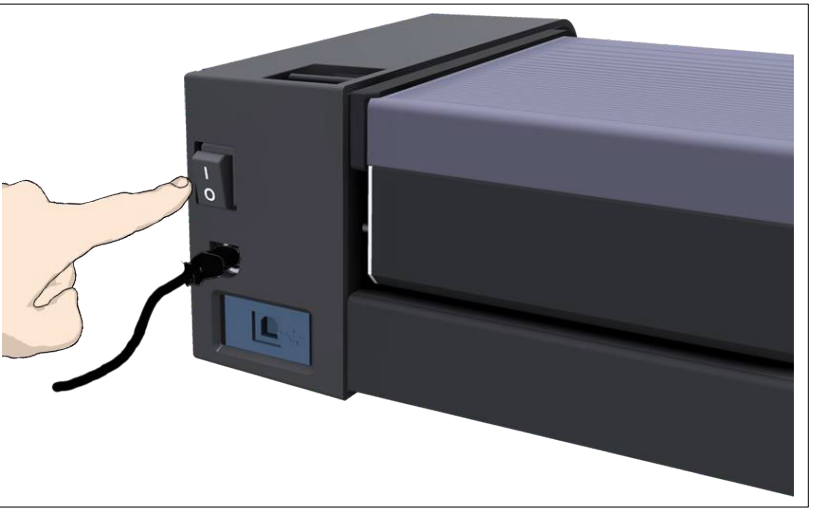


スキャ

スキャナの清掃

1 スキャナの主電源をオフにする

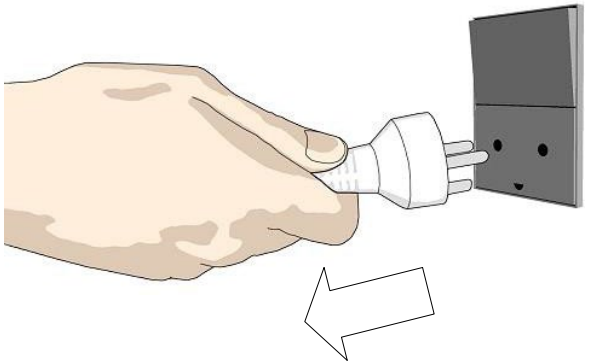
スキャナの背面にある主電源スイッチを押してオフにします(“0”の側を押す)。



スキャナの清掃

2 スキャナの電源ケーブルを抜く

注意：スキャナの清掃を行う前に、必ず電源ケーブルを抜いてください。これは、けがやスキャナの破損を防ぐためです。



スキャナの清掃

3 給紙台を清掃する

スキャナの外側および内部を軽く拭き、スキャン中に付着したほこりを取り除きます。清掃は給紙トレイから始めてください。

スキャナを使用する際に、スキャンエリアに原稿とともにほこりが入り込まないように、給紙トレイを清掃します。



スキャナの清掃

4 解除ボタンを手前に引いて、カバーのロックを解除する

次の手順でスキャナカバーの下にあるスキャンエリアを清掃するため、カバーを開ける必要があります。スキャナカバーの解除ボタンはカバーの後部にあります。

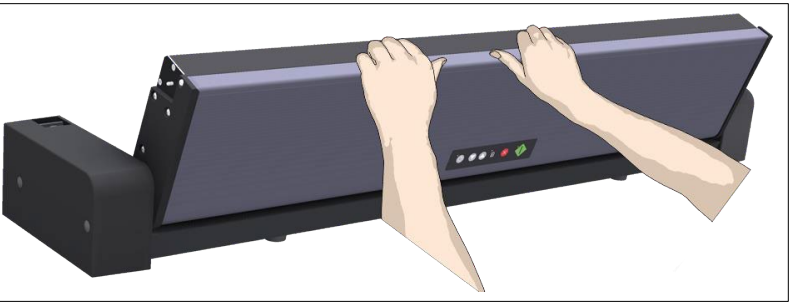
- スキャナの前に立ちます。
- 左右の解除ボタンを手前に引き、カバーのロックを解除します。
- もう一方の手でカバーの端を支え、上方へゆっくりと開きます。



スキャナの清掃

5 スキャナカバーを開く

カバーの端を持ち、上に引き上げて完全に開きます。



スキャナの清掃

6 スキャナのガラスプレートを清掃する

ガラスプレートの清掃には、糸くずの出ない新しいきれいな布を 2 枚使用します。給紙台の清掃に使用した布は使用しないでください。

- 糸くずの出ない布に、拭き跡が残りにくい刺激の少ないガラスクリーナーを付けます。
- ガラスプレートを軽く拭きます。
- もう 1 枚の糸くずの出ない乾いたきれいな布でガラスをから拭きして完全に乾かします。
- 液体がガラスの下に入り込まないように注意し、その部分を乾いた状態に保ってください。

注意：ガラスプレートやスキャンエリア内の他の箇所に液体をスプレーなどで直接かけないでください。



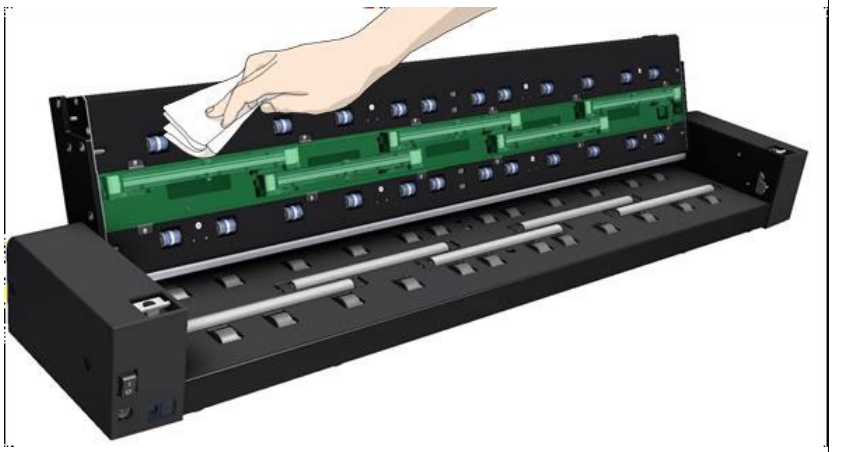
スキャナの清掃

7 上側の精密ローラーを清掃する

上側の精密ローラーは、カバー内のガラスプレートの両側に並んでいます。これらのローラーは、スキャナ内を移動する原稿の向きをまっすぐに保つ働きをします。上側の精密ローラーは原稿の印刷面に直接触れるため、清掃時には特に注意を払う必要があります。

- 糸くずの出ない布に、拭き跡が残りにくい刺激の少ないガラスクリーナーを付けます。
- ローラーの表面を軽く拭きます。
- 布を使用してローラーを回し、すべての面を拭きます。
- 糸くずの出ない別の乾いたきれいな布でローラーをから拭きして完全に乾かします。
- ローラーの周辺部を乾かします。

注意：ローラーやスキャンエリア内の他の箇所に液体をスプレーなどで直接かけないでください。



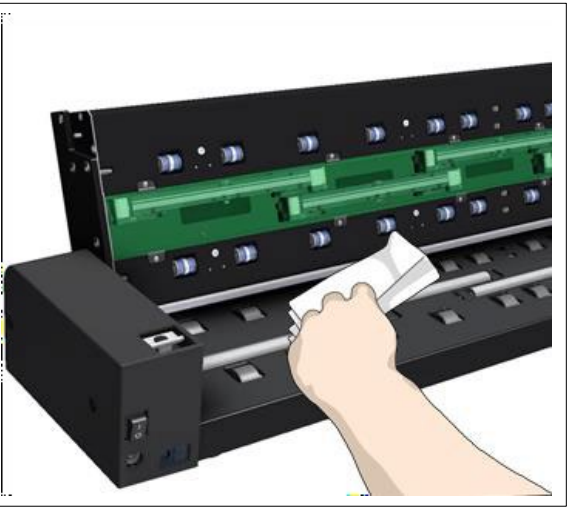
スキャナの清掃

8 白い圧力ローラーを清掃する

白い圧力ローラーとは、黒い搬送ローラーの間にある長いローラーのことです。このローラーは、原稿をスキャナ内で平らに保つ働きをします。

- 糸くずの出ない布に、拭き跡が残りにくい刺激の少ないガラスクリーナーを付けます。
- 白いローラーの表面を軽く拭きます。
- 布を使用してローラーを回し、すべての面を拭きます。
- 糸くずの出ない別の乾いたきれいな布でローラーをから拭きして完全に乾かします。
- ローラーの周辺部を乾かします。

注意：ローラーやスキャンエリア内の他の箇所に液体をスプレーなどで直接かけないでくださ



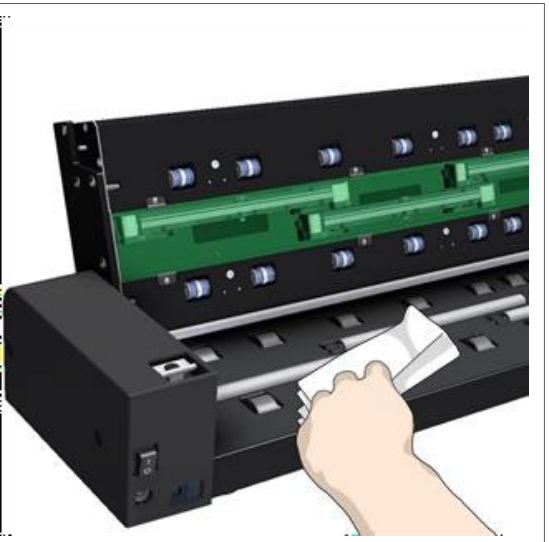
スキャナの清掃

9 搬送ローラーを清掃する

搬送ローラーは、白い圧力ローラーの両側に並んでいます。黒い搬送ローラーは電動式で、スキャナ内で原稿を移動する役割を果たします。

- 糸くずの出ない布に、拭き跡が残りにくい刺激の少ないガラスクリーナーを付けます。
- 搬送ローラーの表面を軽く拭きます。
- 布でローラーを回し、全面を拭きます。搬送ローラーは同じ軸に連結されているため、1つを回すとすべて回ります。
- 糸くずの出ない別の乾いたきれいな布で搬送ローラーをから拭きして完全に乾かします。
- ローラーの周辺部を乾かします。

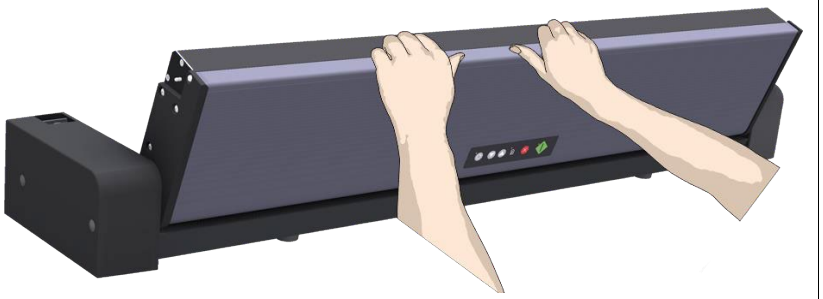
注意：ローラーやスキャンエリア内の他の箇所に液体をスプレーなどで直接かけないでくださ



スキャナの清掃

10 カバーを閉じます

- スキャナカバーの上部に手を当て、カチッという音がしてラッチがかかるまで押し下げます。
- カバーを軽く上げて完全に閉まっていることを確認します。



スキャナの清掃

11 スキャナの清掃完了

スキャナとスキャンエリアの清掃手順が完了しました。

スキャナの電源ケーブルを接続し、主電源スイッチをオンにしてください。



スキャナの補正

スキャナの補正は、*WIDEsystem* プログラムを使用して簡単に実行できます。キャリブレーションシートを挿入するだけで、あとは補正ウィザードが自動的に処理を実行します。

注記：補正を行う前に必ずスキャナを清掃してください。

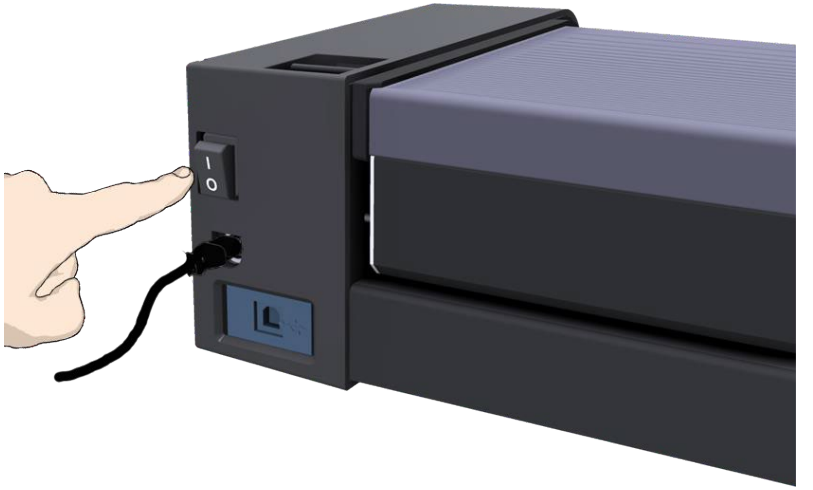
スキャナを補正するには

補正

1 スキャナの電源を入れる

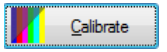
主電源がオフになっている場合は、スキャナの背面にある主電源スイッチを押してオンにします。スキャナが*スリープモード*になっている場合は、いずれかのボタンを押して*ウェイクアップモード*に戻してください。

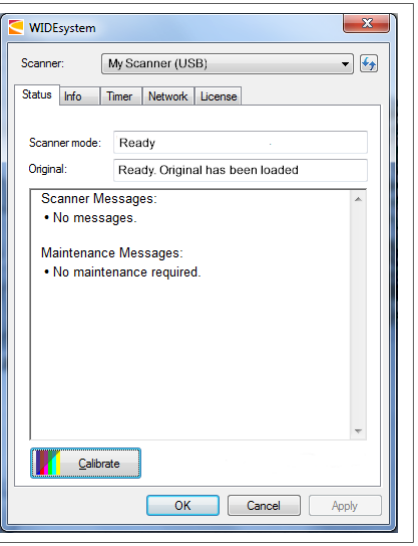
WIDEsystem に[使用可能]と表示されていれば、スキャナは補正を実行できる状態です。



補正

2 スキャナ補正ウィザードを起動する

- お使いの PC のシステムトレイのスキャナアイコン をダブルクリックし、WIDEsystem プログラムを開きます。
- [補正]ボタンをクリックします。 

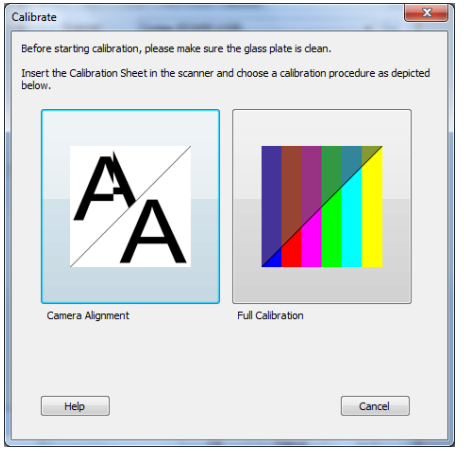


補正

3 補正の種類を選択します。

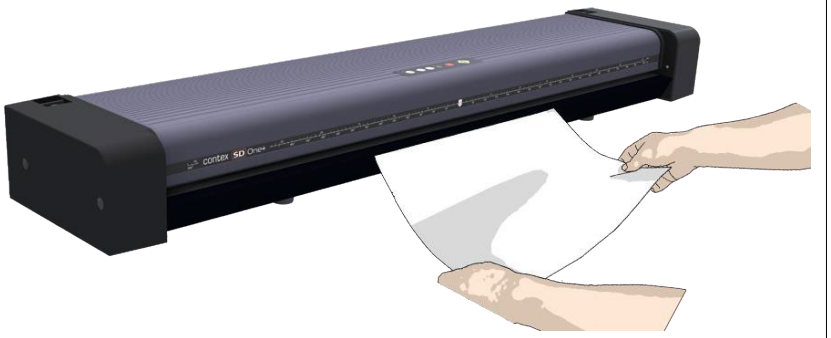
[カメラ調整]と[完全補正]のいずれかを選択します。

- カメラ調整では、イメージスティッチングが正しく行われるように水平キャプチャを調整します。
- 完全補正では、カメラ調整、白/黒補正、およびカラー補正が行われます。



補正

4 キャリブレーションシートを挿入する

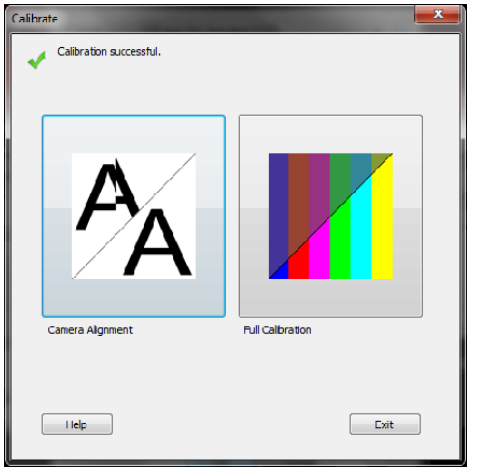


ウィザードの実行中に、スキャナに付属のキャリブレーションシートを挿入するように指示されます。**シートの印刷面を上にして挿入します。**シートの中心矢印をスキャナの中心矢印に揃えて、シートをスキャナに給紙します。

ウィザードの*[次へ]*ボタンをクリックして続行します。

補正

5 プログラムがスキャナを補正する



プログラムが段階的に動作し、センサーの解析と修正、白/黒値の補正、およびカラーの補正(カラースキャナの場合)を実行します。キャリブレーションシートが繰り返しスキャンされ、プログラムがデータを処理します。

要求した補正処理(カメラ調整または完全補正)が完了するまで待ちます。

補正が完了すると、それを示すメッセージが表示されます。

- スキャナキャリブレーションシートをスキャナから取り出します。
- スキャナキャリブレーションシートを保護カバーに戻してから、保管フォルダに入れます。
- 直射日光の当たらない乾燥した場所にフォルダを保管します。

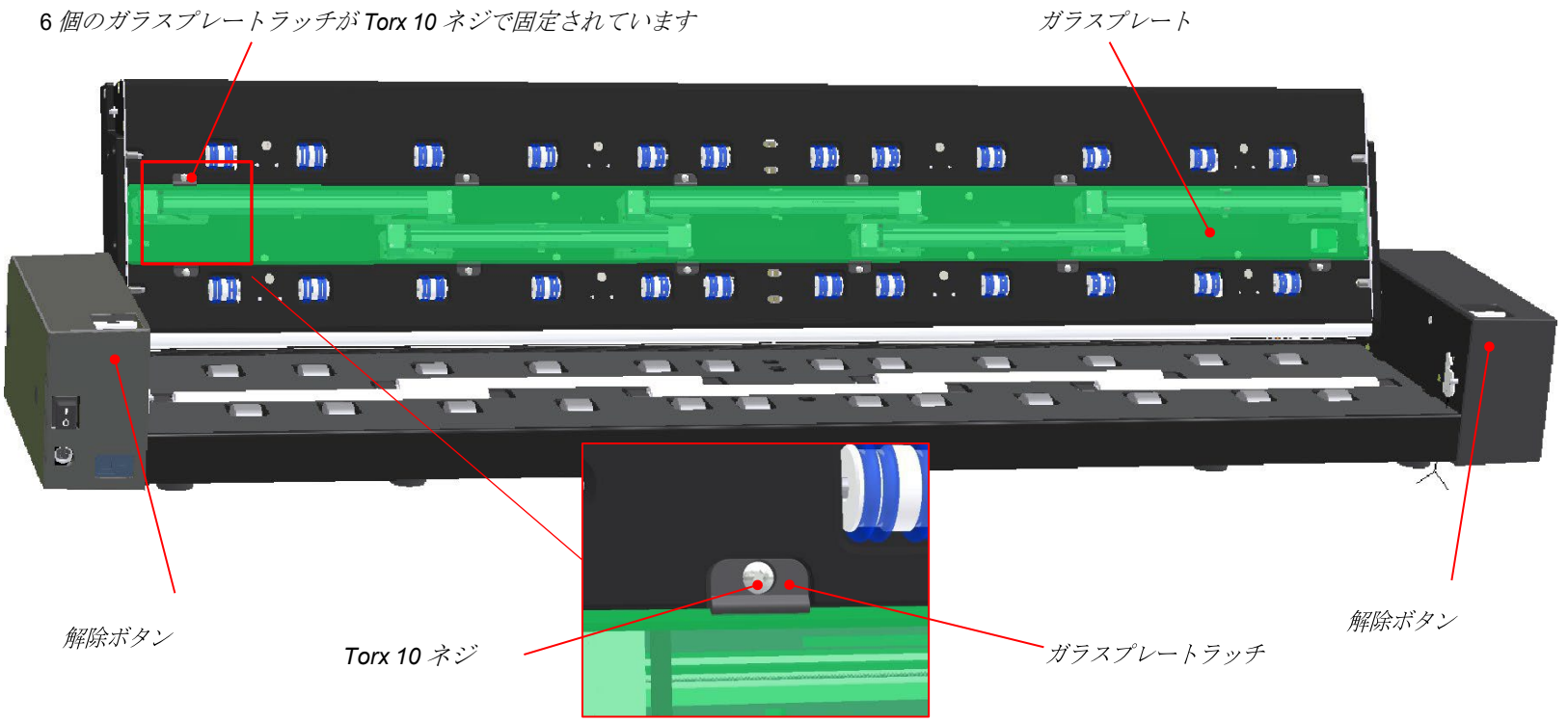
ガラスプレートの交換

原稿はスキャン時にガラスプレートの上を通過します。ガラスプレートに摩耗や傷が生じると、画質や読み取り精度が低下する場合があります。その場合はガラスプレートを交換してください。

ガラスプレートの交換 - 主要部品の概要

次の図は、カバーを開けたスキャナを背面から見たところです。ガラスプレートの交換前に、主要な部品とボタンの位置を確認してください。

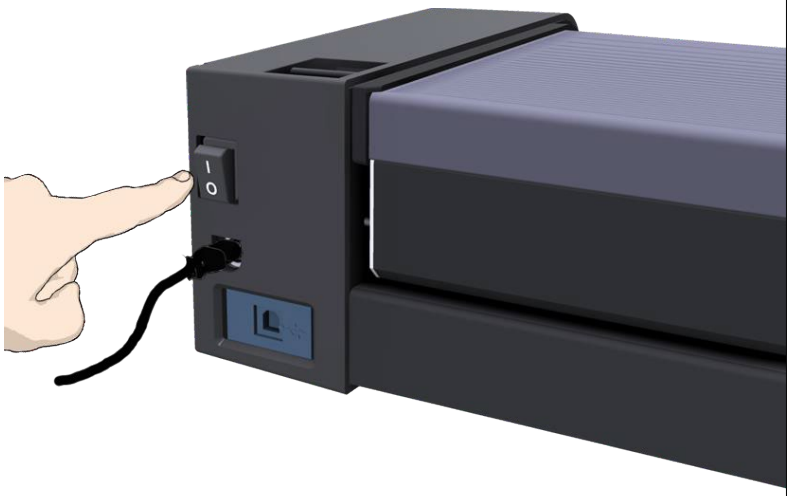
ガラスプレートは、小さなプラスチック製ラッチで固定されています。各ラッチは、Torx 10 ネジを取り外すと、ガラスプレートから外すことができます。以降のページで作業手順を説明します。



ガラスプレートの交換

1 主電源をオフにする

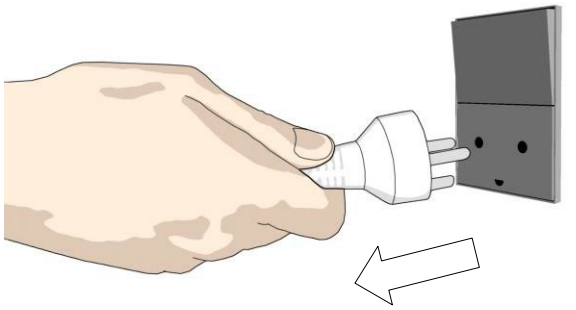
スキャナの背面にある主電源スイッチを押してオフにし、USB ケーブルと電源ケーブルを取り外します。



ガラスプレートの交換

2 スキャナの電源ケーブルを抜く

注意：これは、けがやスキャナの破損を防ぐためです。



ガラスプレートの交換

3 解除ボタンを手前に引く

ガラスプレートはスキャナカバーの下のスキャンエリアにあります。ガラスプレートを交換するためには、カバーを開ける必要があります。

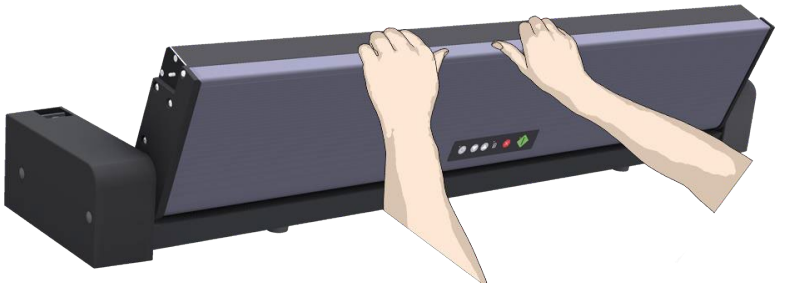
- スキャナの前に立ちます。
- 左右の解除ボタンを手前に引き、カバーのロックを解除します。
- カバーを開けます。



ガラスプレートの交換

4 スキャナカバーを開く

カバーを上に引き上げて完全に開き、スキャンエリアとガラスプレートが見える状態にします。

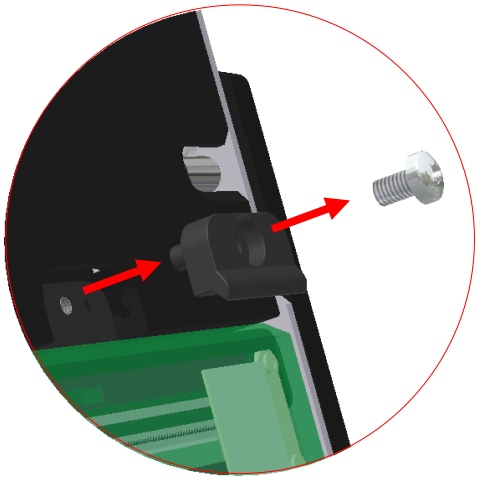


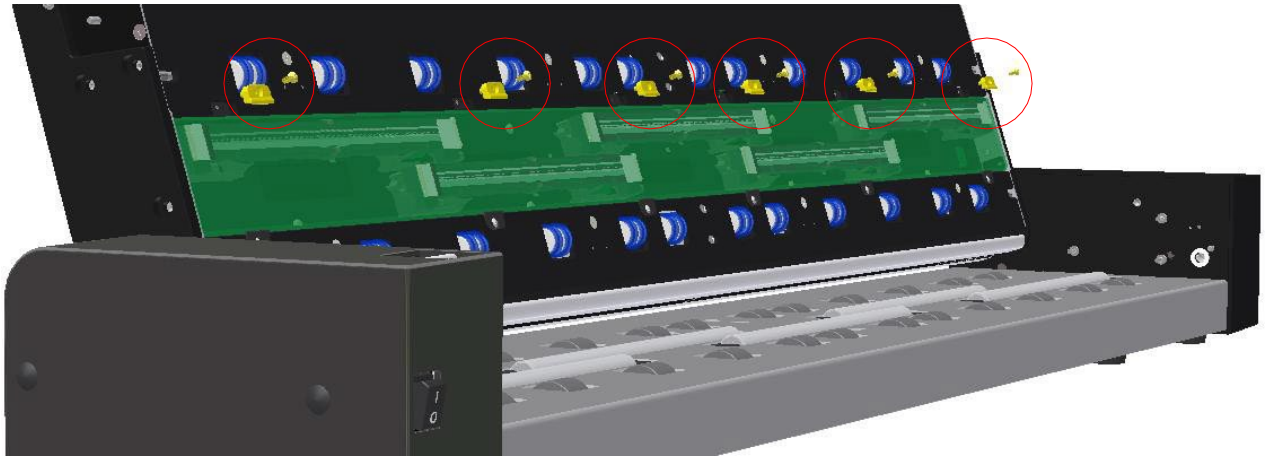
ガラスプレートの交換

5 Torx 10 ネジ 6 個とラッチ 6 個を取り外します。
(SD One X 24は各4個)

ガラスプレートを交換するときに扱う主要部品を把握し、位置を確認する必要があります。
上の「主要部品の概要」を参照してください。

- スキャナの背面に立ちます。スキャナの右側から始めます。
- 上の列のみ、すべてのネジとラッチを取り外します。





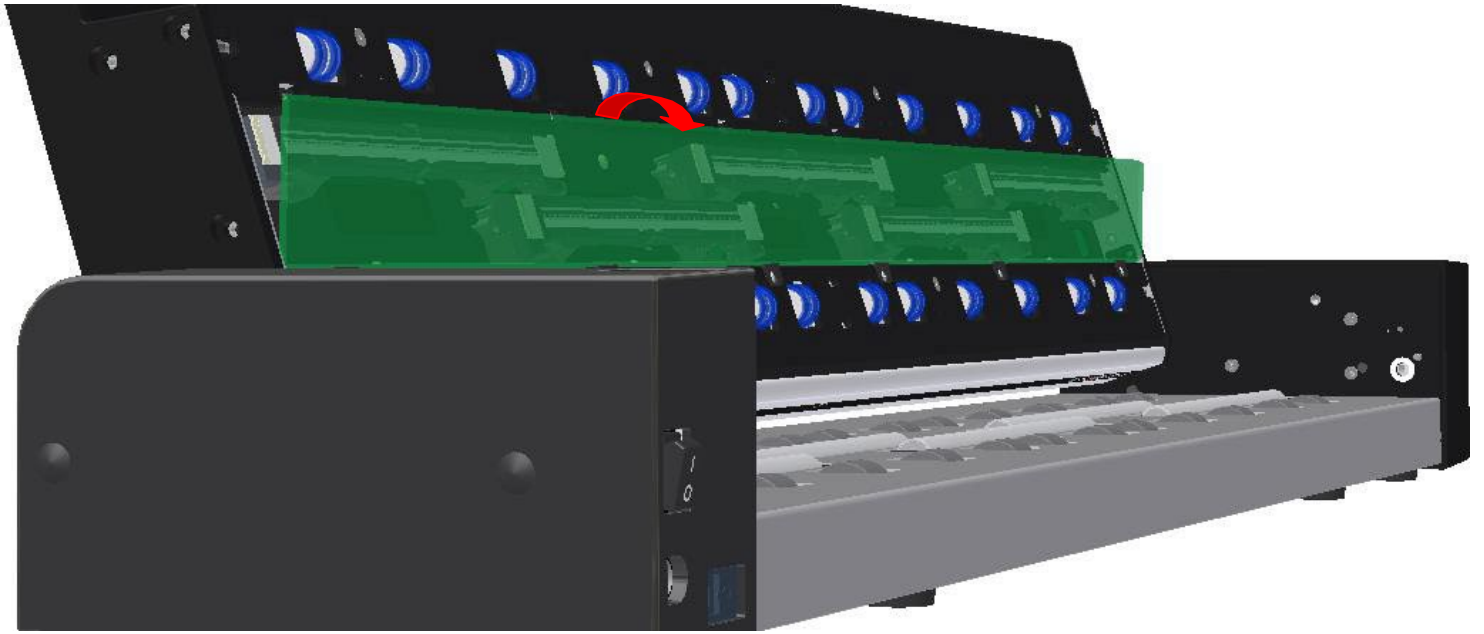
ガラスプレートの交換

6 ガラスプレートを取り外す

ガラスプレートは、スキャナから取り外すことができる状態になっています。

- ガラスプレートの上端を外側へ傾けて、スキャナから外します。
- ガラスプレートの端を持ち、スキャナからガラスを持ち上げます。

注意：ガラスプレートは長くて薄いため、割れやすくなっています。スキャナの上でガラスプレートを割らないように注意してください。



ガラスプレートの交換

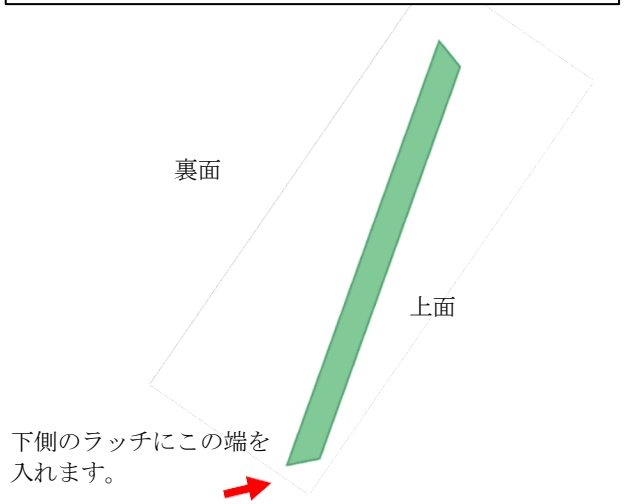
7

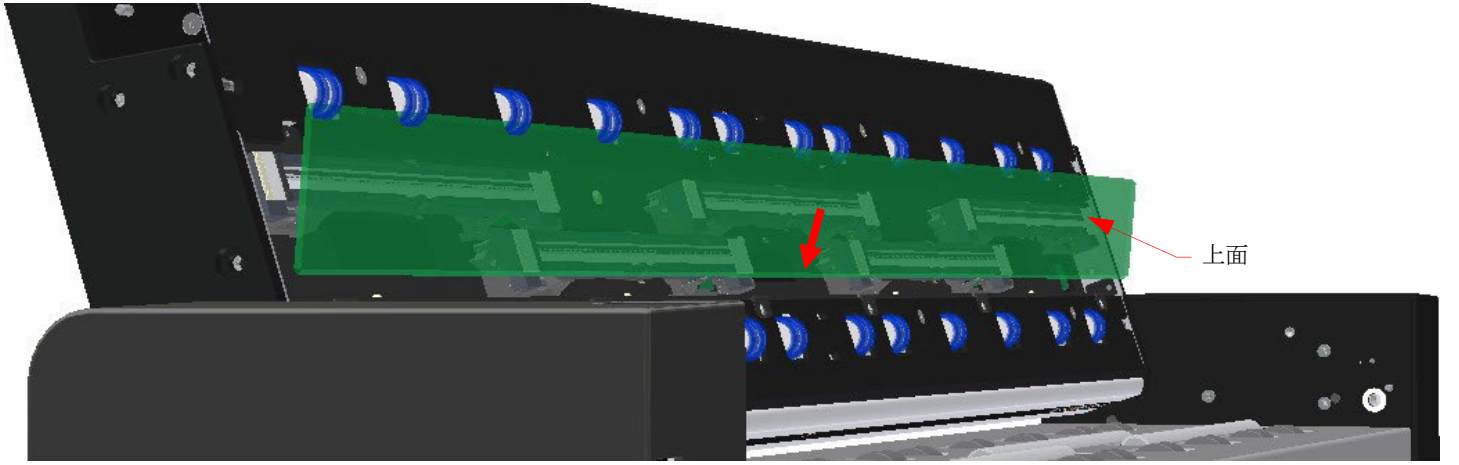
スキャナに新しいガラスプレートを取り付ける

- 新しいガラスプレートの両端を両手で持ち上げます。ガラス面に触れないようにしてください。
- メンテナンス中に通常は清掃しないガラスプレートの裏面に触らないよう**特に注意**してください。
- ガラスプレートを持ってスキャナの背面に立ちます。
- ガラスプレートは、表面と裏面が正しい向きになるように持ってください。縁の面取りの向きで裏表を見分けることができます。どちらが裏面になるかは、右側のガラスプレートの側面図を参照してください。
- 以下に示す向きでガラスプレートを持ちます。
- 図のようにガラスプレートを傾けてスキャナ内に下ろし、ガラスプレートの下側のエッジがスキャナの下側のラッチに収まるようにします（次の手順を参照）。

注意：ガラスプレートは長くて薄いため、割れやすくなっています。ガラスプレートを割らないように注意してください。

ガラスプレートの側面図：
図のような角度を保ちながら、ガラスプレートをスキャナの上に下ろします。

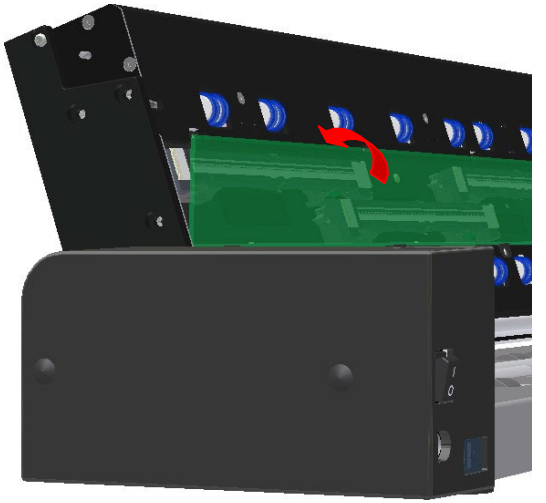




ガラスプレートの交換

8 上端を傾けてガラスプレートを配置する

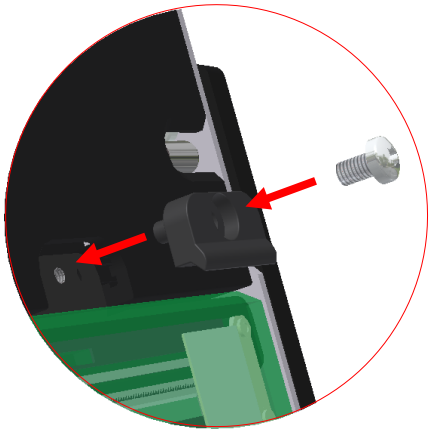
- ガラスプレートが下側のラッチに収まった状態で、ガラスプレートがスキャナカバーに完全にはまるように、上側のエッジを慎重に傾けます。



ガラスプレートの交換

9 ガラスプレートを固定する

- 取り外したラッチとネジを元の位置に取り付け直します。
- スキャナの右側から、ラッチとネジを差し込みます。
- 締めすぎないように注意しながら、ゆっくりとネジを締めます。
- ガラスプレートがラッチで押さえられていることを確認します。



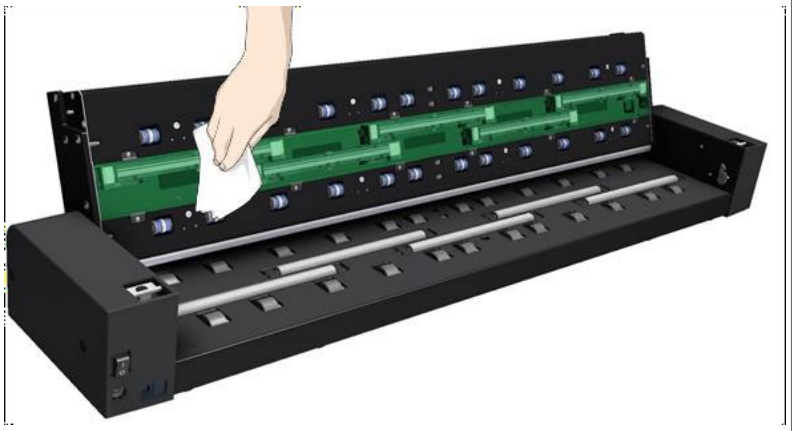
ガラスプレートの交換

10 ガラスプレートを清掃する

ガラスプレートの清掃には、糸くずの出ない新しいきれいな布を使用します。

- スプレーなどを使用し、布の片側に拭き跡が残りにくい刺激の少ないガラスクリーナーを付けます。
- ガラスプレートを軽く拭きます。交換作業中に付いた指紋や汚れがあれば拭き取ってください。
- 布の反対側（乾いている方）でガラスプレートをから拭きして完全に乾かします。
- 液体がガラスプレートの下に入り込まないように注意し、その部分を乾いた状態に保ってください。

注意:ガラスプレートやスキャンエリア内の他の箇所に液体をスプレーなどで直接かけないでください。



ガラスプレートの交換

11 ガラスプレートの交換完了

- 「カチッ」という音がしてラッチがかかるまで、スキャナカバーを完全に閉じます。カバーを軽く上げて完全に閉まっていることを確認します。
- スキャナの電源ケーブルを接続し、主電源スイッチをオンにしてください。

注記：ガラスプレートの交換後も良好なスキャン結果が得られない場合は、スキャナの補正を実行し、新しいガラスプレートに合わせてスキャナを調整してください。



新しいファームウェアのダウンロード

ファームウェアとは?

ファームウェアは、スキャナ内部で動作し、スキャナの各機能を制御するソフトウェアです。PCのアプリケーションと連携してスキャナを動作させます。

新しいファームウェアが必要となる場合とは?

スキャナは最新のファームウェアを装備した状態で出荷されます。その後、新しいファームウェアがリリースされるたびに、オリジナルのファームウェアをアップグレードできます。ファームウェアの更新版は、メーカーの Web サイトからダウンロードしたり、販売代理店から入手できます。

以下のようなときにファームウェアをアップグレードします :

- 新しい機能がリリースされたり、ファームウェアを介してスキャナに改善が施された場合。
- スキャナのファームウェアのバージョンにエラーが発見され、エラー修正済みの新しいファームウェアのバージョンをメーカーが推奨している場合。

注記 : メーカーのWeb サイトには、新しいファームウェアがリリースされるたびに、改善箇所が記載されます。

スキャナで動作しているファームウェアのバージョンを知る方法は?

- システムトレイの WIDEsystem プログラムアイコンをダブルクリックして WIDEsystem を起動します。
- *[情報]*タブを選択します。
- [情報]タブで、ファームウェアの詳細など、スキャナに関する情報を確認できます。

- *リリース* - アップグレード可能なファームウェアバージョン。
- *タイムスタンプ* - ファームウェアの作成日。
- *ダウンロード済み* - 現在のファームウェアがダウンロードされた日付/時刻。

*リリース*番号がメーカーの Web サイトにある最新のファームウェアバージョン番号よりも小さい場合は、現在ご利用のファームウェアをアップグレードできます。

新しいファームウェアのインストール方法は?

新しいファームウェアは、更新用の.exeファイルを実行してインストールします。まず、ファイルをPCに保存してください。Webから入手する場合は、リンク先のファイルを保存します。

ファームウェアファイルをスキャナにインストールするには :

- メーカーの Web サイトにアクセスし、スキャナに対応する新しいファームウェアを探します。
- ファームウェアの.exeファイルをダウンロードして、PC内のフォルダに保存します。
- .exe ファイルをダブルクリックしてインストールウィザードを起動します。
- 画面に表示されるウィザードの指示に従います。
- 機種とファームウェアのバージョンにより、インストールには約1分かかる場合があります。

注記 : WIDEsystem の更新 - ファームウェアをアップグレードするときには、必ず WIDEsystem を最新バージョンに更新してください。WIDEsystem は、メーカーのWeb サイトから入手できます。

トラブルシューティング

このセクションでは、スキャナで発生する主な問題の対処方法を説明します。該当する項目の手順を試しても解決しない場合は、修理やサポートを依頼してください。

システム上でのエラー報告の方法

WIDEsystem によって、エラーの内容が画面に表示されます。

一般的なエラーの修正

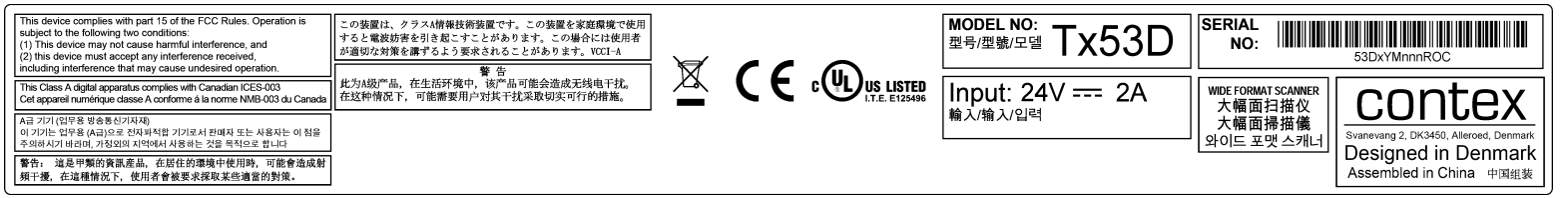
- エラーの実際の内容と原因がすぐにメッセージとして画面に表示される場合があります。表示されない場合は、WIDEsystem を開き(システムトレイ上の WIDEsystem アイコン をダブルクリックする)、[ステータス]タブを選択してエラーの追加情報を確認します。
- 画面に表示される情報には、エラーの解決方法が含まれている場合もあります。画面に表示される指示に従ってください。
- このユーザーズガイドの「トラブルシューティング」でエラーの説明と解決方法を探します。記載されている指示に従ってください。

技術サポート

技術的なサポートが必要となる場合もあります。以下の 1 つ以上の状況に該当する場合は、サービスプロバイダに連絡してください。
… PC の画面に表示される方法でエラーを解決できない。
… エラーとその解決方法がこのユーザーズガイドに記載されていない。
… エラーメッセージが画面に表示されない。

技術サポートに連絡する前に、以下の準備を行ってください。

- スキャナモデル名とシリアル番号を書き留めてください。シリアル番号はスキャナ背面のラベルに印刷されています。
- ファームウェアのバージョンを書き留めてください。「*スキャナで動作しているファームウェアのバージョンを知る方法は?*」を参照してください。



注記：サービスプロバイダの連絡先については、メーカーの Web サイトを参照してください。

スキャナのインストールに関連する問題

問題	考えられる原因と解決方法
「不明なデバイスが見つかりました」というメッセージが表示される。	• PCのインターフェースが無効になっているか、正しく設定されていません。Windowsのデバイスマネージャーで、インターフェースとドライバが正常に動作していることを確認してください。 • スキャナを接続する前にWIDEsystem ドライバをインストールしていません。スキャナと PC の電源を切り、電源ケーブルと USB ケーブルを外して、このガイドの「インストール」の手順 1 からインストール作業を再度行ってください。WIDEsystem をインストールする前にスキャナのインストールを続行した場合は、以下のトラブルシューティング手順を参照してください。 • インターフェース接続が緩んでいます。スキャナと PC の両方でインターフェースケーブルをいったん外し、しっかり接続し直してください。 • システムの再起動が必要です。スキャナと PC の電源を切り、電源ケーブルとUSB ケーブルを外してください。次に、USB ケーブルを接続し、PC の電源を入れます。Windows が起動したら、スキャナの電源ケーブルを接続し、主電源スイッチをオンにします。
動作可能なドライバが見つからない - デバイスマネージャーでスキャナに黄色のエラーアイコンが表示されている。	WIDEsystem をインストールする前にケーブルを接続し、スキャナのインストールを実行しようとすると、「不明なデバイスが見つかりました」というメッセージが表示されます。このエラーを無視して次のダイアログへ進むと、スキャナは動作可能なドライバのない新しいデバイスとしてシステムに登録されます。この場合、Windows デバイスマネージャーでは、スキャナに黄色のエラーアイコンが表示されます。スキャナを正しくインストールし直すためには、このスキャナエントリをデバイスマネージャーから削除する必要があります。 • デバイスマネージャーでスキャナエントリを削除します。 • PC の電源を切り、スキャナの電源を切って電源ケーブルを外し、スキャナと PC の接続ケーブルを外します。 • このガイドの「インストール」の手順 1 からインストールを実行します。必ずスキャナを接続する前に WIDEsystem をインストールしてください。
WIDEsystem がスキャナを検出しない。	• スキャナがスリープモードになっている可能性があります。電源ボタンを押して、スキャナを起動してください。 • PC にスキャナモデルより古いバージョンの WIDEsystem ドライバがインストールされています。スキャナに付属のWIDEsystem TOOLS USBからWIDEsystem ドライバをインストールしてください。付属のWIDEsystem TOOLS USB がない場合は、メーカーのWeb サイトから最新バージョンをダウンロードするか、販売店に連絡して適切なバージョンのWIDEsystem を入手してください。 • スキャナを接続する前にWIDEsystem ドライバをインストールしていません。スキャナと PC の電源を切り、接続ケーブルを外して、インストールを手順 1 から再度行ってください。 • インターフェース接続が緩んでいます。スキャナと PC の両方でインターフェースケーブルをいったん外し、しっかり接続し直してください。 • システムの再起動が必要です。スキャナと PC の電源を切り、接続ケーブルを外してください。次に、インターフェースケーブルを接続し、PC の電源を入れます。Windows が起動したら、スキャナの電源をオンにしてください。

スキャナの動作に関連する問題

問題	考えられる原因と解決方法
技術サポートへの連絡が必要。	問題への最善の解決策を迅速に得るためには、サービスプロバイダに技術サポートを依頼する前に、できるだけ多くの情報を用意する必要があります。サービスプロバイダの連絡先については、メーカーのWeb サイトを参照してください。 手順については、上記を参照してください。

エラーメッセージ：紙詰まり

紙詰まりエラーが発生すると、スキャナは、文書が駆動機構内にまだある状態でスキャンを停止します。画面には*紙詰まりエラーメッセージ*が表示されます。解決するには、次の手順を実行します。

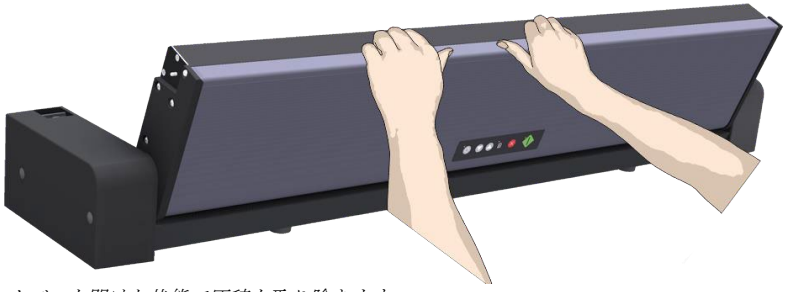
- スキャナカバーを開いて、詰まった原稿を取り除きます。

左右のカバー解除ボタンを手前に引き、ロックを解除します。カバーの端をしっかり持ってください。



カバーを開く - 解除ボタンを手前に引く

- カバーを引き上げて開き、もう一方の手で原稿を引き出してスキャンエリアから完全に取り除きます。



カバーを開けた状態で原稿を取り除きます。

- カバーを閉じます。
- スキャナがレディ状態に戻ったら、原稿を再度挿入し、スキャンを実行します。
- 再び紙詰まりエラーが発生した場合は、上記の手順を繰り返します。ただし、今度は原稿を挿入する前にソフトウェアで*[低速給紙]*オプションを選択してください。

スキャナ キャリブレーション エラー メッセージ: ***スティッチ調整に失敗しました***	このメッセージは*補正*ウィザードの実行中に表示されることがあります。 • 最も多い原因は、ガラスプレートの汚れや染みです。スキャンエリアを清掃し、スキャナを再起動してから、このガイドの「*補正*」の記載に従って補正を実施します。 • スキャンエリアを清掃しても問題が解決しない場合は、光学経路内に異物が入り込んだことが原因である可能性があります。スキャンエリアから紙片などの異物を取り除いてください。ごく小さな異物であってもスキャナの調整機能を阻害します。 • 問題が解決しない場合は、技術サービスプロバイダにサポートを依頼してください。
ファームウェアのアップグレードが失敗してからスキャナが動作(反応)しなくなった。	停電によって、実行中のファームウェアのアップグレードプロセスが中断した可能性があります。ファームウェアのアップグレードプロセスが中断された場合、スキャナは正常に動作しなくなります。ファームウェアの一部しかロードされない可能性があり、その場合はスキャナがアクセス不能になります。スキャナを*セーフモード*で再起動し、再度ファームウェアを適用する必要があります。 スキャナを再起動します。破損したファームウェアを検出した場合、スキャナは*セーフモード*で起動します。 *セーフモード*であることを確認します。システムトレイのWIDEsystem スキャナアイコンをダブルクリックして WIDEsystem を開きます。*[スキャナ:]*フィールドに「スキャナはセーフモードになっています」と表示されている必要があります。 「ファームウェアのインストール」の手順を実行してください。 **注記**：*セーフモード*は、破損または中断したファームウェアのインストールを修復する目的でのみ使用してください。スキャナが*セーフモード*であるときにスキャンを行わないでください。

スキャン結果に関連する問題

問題	考えられる原因と解決方法
イメージの一部がスキャンされない	• スキャンアプリケーションでサイズ設定が[自動認識]であるか原稿全体のサイズと一致していることを確認します。 • スキャンアプリケーションで、原稿を正しく挿入していることを確認します。必ず原稿の中央をスキャナの中央の矢印に合わせてください。
スティッチングの問題 - イメージセクションのずれ(センサーとセンサーの間 - ピクセルの重なり)	• スキャナから原稿を取り出し、スキャナの補正を実行します。 • 補正では、スティッチングエラーの修正も行われます。 • 補正を行っても問題が解決しない場合は、センサーの再調整が必要である可能性があります。技術サービスプロバイダにサポートを依頼してください。
スキャンしたイメージに原稿の図面にはない 1 つ以上の細い垂直線(給紙方向)が現れる。	原因として多いのはガラスプレートの汚れです。ガラスプレートにほこりが付いていると、それが 1 か所であっても、場所が悪ければスキャン結果の全体に縞が発生することがあります。解決するには、次の手順を実行します。 • このユーザーズガイドに記載された手順に従ってガラスプレートとローラーを清掃します。 • ガラスプレートに付着するほこりのほとんどは、挿入される原稿によって持ち込まれます。原稿を糸くずの出ない乾いた布で拭いてほこりを取り除いてからスキャナに挿入してください。 • 清掃を行っても問題が解決しない場合は、WIDEsystem を起動してスキャナの補正を実行します。スキャナはほこりがあった位置を記憶している可能性があるため、ほこりを除去した後で再補正を行う必要があります。 • 清掃と補正を行っても問題が解決しない場合は、ガラスプレートに傷がないかどうか確認してください。ガラスプレートに傷が付いている場合は交換が必要です。サービスプロバイダから新しいガラスプレートを入手してください。このユーザーズガイドに記載された手順に従ってガラスプレートを交換してください。 • キャリブレーションシートの破損も縞が現れる原因になります。新しいキャリブレーションシートを入手し、スキャナの再補正を行ってください。

安全に関する重要な注意事項

これらの注意事項を全て読み、後で使用できるように保存してください。スキャナに付いている全ての警告および指示に従ってください。



警告：スキャナの底面の穴に指を近づけないでください。

A. スキャナを不安定な場所や台車、テーブルの上に置かないでください。本体が落下すると、重大なけがや機器の損傷につながるおそれがあります。

B. 清掃を行うときには、スプレーなどで液体クリーナーをスキャナ部品に直接付けないでください。液体クリーナーを布に付け、湿らせた布で部品を拭いてください。

C. **ユーザーにより交換可能な部品**を**清掃**または交換する前に、必ずスキャナの電源をオフにし、電源コードを抜いてください。

D. スキャナは、マーキングラベルに示された電源タイプで動作する必要があります。使用されている電源タイプが不明な場合は、販売代理店または地域の電力会社にご相談ください。

E. このスキャナは、IT、TT、および TN 配電システムで使用するためのもので、3 線アースプラグが付いています。このプラグは、アース端子付き電源コンセントにのみ差し込むことができます。これは設置時の安全のための仕様です。プラグをコンセントに差し込めない場合は、電気技師に連絡して、コンセントを交換してください。アースプラグの目的を無視した使い方をしないでください。

F. 電源ケーブルの上には何も置かないでください。コードが踏まれるような場所にはスキャナを置かないでください。

G. スキャナに延長コードを使用する場合は、延長コードに接続する製品の合計定格アンペアが延長コードの定格アンペアを超えないようにしてください。壁コンセントに差し込まれる全ての製品の合計定格が 15 アンペアを超えないようにしてください。

H. 背面または底面のキャビネットにあるスロットや開口部は、通気のために設けられています。これは、操作の信頼性を確保し、製品を過熱から保護するためのものです。これらの開口部をふさいだり覆ったりしないでください。ベッド、ソファ、じゅうたんなどの表面が柔らかいものの上に設置して、この開口部をふさいだり、覆ったりしないでください。この製品をラジエータや温風送風口の近くまたは上に設置しないでください。十分な通気ができない限り、スキャナをビルトイン式で設置しないでください。

I. スキャナ筐体のスロットから内部にどのような物体も押し込まないでください。危険な電圧ポイントに接触したり、部品をショートさせ、火災や感電の危険を生じる可能性があります。スキャナに液体をこぼさないようにご注意ください。

J. スキャナを自分で修理しようとしないでください。開閉に道具が必要なカバーを開けたり、または外すと、危険な高電圧のかかっている場所などのリスクにさらされます。そのような箇所の修理は指定サービスマンにお任せください。

K. 次の状況の場合は、スキャナのコードを壁コンセントから抜き、指定サービスマンにお任せください。

- 電源コードまたはプラグが損傷または摩滅している。
- スキャナに液体がこぼれた。
- スキャナが雨や水にさらされた。
- 操作指示に従ってもスキャナが正常に動作しない場合は、このマニュアルにある指示で説明されたコントロールのみを調整してください。このマニュアルに記載された以外のコントロールを不適切に調整すると、恒久的な損傷をきたす結果になり、この製品を正常な動作状態に復旧するためには、最善でも、資格を持つ技術者による大規模な作業が必要になります。
- スキャナが落下した、またはキャビネットが損傷した。
- スキャナの性能に、整備の必要性を示す著しい変化が見られる。

付録

FCC 規則

USA

注記：この装置は、FCC 規則第 15 章に定められたクラスA デジタルデバイスに関する規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに適合するものと認定されています。これらの制限は、本機器を商業用の環境で使用する際に有害な電波障害を起こさないために規定されたものです。この装置は、電磁波を発生、使用、および外部に放射することがあり、取扱説明書どおりにインストールして使用しない場合は、無線通信に対する有害な電波妨害を起こす場合があります。本機器を居住地域で使用すると有害な電波障害を引き起こす可能性があります。この場合、ユーザーは自費でこの電波障害を解決する必要があります。

警告：FCC 規則第 15 章 21 に基づいて、メーカーによって明示的に承認されていない変更や改造は、有害な電波妨害を起こす場合があり、装置を操作するユーザーの権限は無効になります。

CE 規則

EU

この製品はクラス A 製品です。家庭環境において、この製品は無線妨害を起こす可能性があり、その場合ユーザは適切な対処を求められる場合があります。

VCCI 規則

日本

この装置は、VCCI-CISPR 32:2016に定められたクラスA製品の許容値に適合することが試験で確認されています。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

CCC規則

中国

警告：在居住环境中，运行此设备可能会造成无线电干扰。

有毒/有害物質または成分

有毒有害物质或元素名称及含量

部品 名 部件名称	有毒/有害物質および成分					
	鉛 (Pb) 铅	水銀 (Hg) 汞	カドミウム (Cd) 镉	六価 クロム (Cr (VI)) 六价铬	多臭素化 ビフェニル (PBB) 多溴联苯	多臭素化 ジフェニルエーテル (PBDE) 多溴二苯醚
スキャナ 扫描仪	0	0	0	0	0	0

0：この部品のすべての均質材料において、各有害物質の含有量がSJ/T11363-2006の規制値以下であることを示します。

表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求以下。

X：この部品に使用されている少なくとも 1 つの均質物質に含まれるそれぞれの有毒物質

または有害物質がSJ/T11363-2006 に定められた規制値を超えていることを示す。

表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。

(企業は、この欄に「X」の項目について実際の条件に基づく技術的な説明を記載することができる。)

企业可在此处根据实际情况对上表中打“ X”的技术原因进行进一步说明。)